オムロン無停電電源装置(UPS)専用ソフトウェア

PowerAct Pro Master Agent

Windows7編

インストールマニュアル





ご使用上の注意

ご使用用途について

ー般オフィスやサーバルームで使われるコンピュータに使用することを目的に設計、製造されています。きわめて高い信頼 性や安全性が要求される以下のような用途には絶対に使用しないでください。

- 1. 医療機器など、人命に直接関わる用途
- 人身の損傷に至る可能性のある用途
 例:航空機、船舶、電車、エレベーターなどの運行、運転、制御に直接関わる用途
- 3. 主要な電算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなどへの用途
- 4. これらに準ずる機器への用途

ソフトウェア使用許諾契約書について

本ソフトウェアをコンピュータヘインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾契約書(以下本契約)の内容にご 同意いただけたものといたします。

ご同意いただけない場合には、ソフトウェアをコンピュータにインストールしないでください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社(以下オムロン)がお客様にソフトウェア商品(以下ソフトウェ ア)を使用許諾する条件を定めたものです。

必ずソフトウェアをご使用になる前に、注意して以下の事項をお読みください。

- 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムおよびそれに関連する技術 資料などのすべてを含みます。ソフトウェアにかかわる著作権その他の知的財産権はオムロンまたはオムロンに使用 許諾をしている第三者に帰属し、本契約によりお客様に移転することはありません。お客様がそれらの権利を侵害し た場合、前述のオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に対する責任は、お客様が負うものとします。
- 2. オムロンは、お客様に対し、本契約に基づきソフトウェアに関し以下の非独占的権利を許諾します。

客とは、ソフトウェアが組込まれた対象製品を自己のもとで使用する最終使用者をいいます。

- (1) お客様がオムロンより購入した無停電電源装置 (UPS) を監視および管理する目的に限り、当該無停電電源装置 (UPS) から電源供給を受けているコンピュータであって、お客様自身が所有するもののみにおいて、ソフトウェアを使用す る権利。
- (2) お客様が、オムロンより購入した無停電電源装置(UPS)およびソフトウェアを組み込んだ対象製品を直接または間接 に顧客に頒布する権利。ただし、当該対象製品に組み込まれた当該無停電電源装置(UPS)を監視および管理する目的 に限るものとし、また、当該無停電電源装置(UPS)から電源供給を受けているコンピュータであって、顧客自身が所 有するもののみにおいて使用する場合に限ります。 なお、本号において、対象製品とは、お客様が製造および販売する機器またはシステムソフトウェアをいい、また顧

- 前項に定める場合を除き、お客様は、ソフトウェアをオムロンの事前の書面による同意なしに第三者に再使用許諾、 譲渡または貸与することはできません。
- お客様はソフトウェアのバックアップ目的のためのみにソフトウェアを複製することができます。
 お客様はソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれ に類する行為を行うことはできません。
- 5. お客様は、ソフトウェアの内容について本契約期間中およびその終了後も機密として保存し、第三者へ開示しないものとします。
- 6. オムロンは、お客様に対し、ソフトウェアがマニュアルと主要な点で一致して作動することを保証します。 お客様が、オムロンより無停電電源装置(UPS)を購入した日またはお客様がソフトウェアをインストールした日のい ずれか早く到来する日から 90 日以内に、ソフトウェアの記録媒体の物理的な欠陥(CD-ROM のキズや破損など。ただし、 ソフトウェアの使用に支障を生じさせるものに限ります)またはソフトウェアの欠陥(マニュアルとの重大な不一致 をいいます)を発見し返却した場合、オムロンは無償で交換いたします。ただし、上記の欠陥またはソフトウェアの 記録媒体の物理的な欠陥が、お客様または第三者の不適切な使用または取扱いにより生じた場合については、上記の ソフトウェアの交換の対象外となります。
- 前項のソフトウェアの交換は、オムロンのソフトウェア保証責任のすべてを定めるものであり、オムロンはソフトウェアの欠陥により発生した、お客様の直接的、間接的、あるいは波及効果による損害、特別な事情による損害、逸失利益についての損害に対しては一切の責任を負いません。
- ソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する 行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ)、著作権または営業秘密を侵害するものとしてオム ロンに使用を許諾している第三者または当該第三者以外からお客様が請求された場合にはオムロンは責任を負いま せん。
- 9. オムロンがお客様の損害について責任を負ういかなる場合においても、オムロンの責任はお客様がソフトウェアにより監視および管理している無停電電源装置(UPS)の購入代金として支払った金額を超えることはありません。
- お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することによりソフトウェアの使用許諾を終了させることができます。その場合、お客様はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに返却しなければなりません。
- 11. 本契約は、日本国法に基づき解釈されるものとします。
- 12. お客様が日本に居住する個人または日本法に基づき設立された法人の場合には、本契約に関する一切の紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。その他の場合には、本契約に関する一切の紛争については、一般社団法人日本商事仲裁協会の商事仲裁規則にしたがって、東京において仲裁により最終的に解決されるものとします。仲裁人の裁定は、最終的かつ本契約の当事者を拘束するものとします。
- 13. 本契約は、日本語版で作成されるものとし、英語版は参考訳とします。日本語版の内容と英語版の参考訳の内容に相 違がある場合は、日本語版の内容が優先します。

運用に関するお願い

- 1. 本ソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を無断で流用することは固くお断りいたします。
- 2. 本ソフトウェアおよび本書の内容については将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本ソフトウェアおよび本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやお気づきの点がございましたら、 当社までご連絡くださるようお願いいたします。
- 4. 本書に記載した画面などは、実際のものとは一部異なる場合があります。
 - Google Chrome は、Google の商標です。
 - Linux は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Microsoft、Internet Explorer、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Mozilla、Firefox は、Mozilla Foundation の登録商標です。
 - その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2016-2019 All Rights Reserved.

本書の読み方

本書の構成

本書は以下の内容で構成しています。

はじめに	本製品の特徴と、全体のシステム構成について記述
インストール	本製品のインストールの前提条件と、Apache を使用する、IIS を使用する、Web サー
	バを使用しない、3種類のインストール方法について記述
シャットダウン動作の確認	シャットダウン時の動作設定やシャットダウンテストの実行方法について記述
こんなときには	トラブルシューティング
付録	動作シーケンスについて記述

表記上の注意

本書では以下の表記を使用しています。

注意	守っていただきたい事項、操作上の注意を要する事項を記載しています。この記載をよくお読みになり、
	必ず指示に従ってください。
参考	役立つ情報や、ヒントとなる情報を記載しています。また、関連する情報が記載されているページや他の
	マニュアルを紹介しています。
本製品	PowerAct Pro Master Agent、マスタ、マスタエージェントを指します。
[]	画面に表示される項目で、操作対象のもの(クリックできるボタン類)は [] で記載しています。
	例: [次へ] ボタンをクリックします。
ΓJ	上記以外の画面に表示される項目や、リンク先については「 」で記載しています。
	例:「通信ポートテスト結果」の結果が空欄の場合、本製品と UPS の通信ができていません。

目 次

ご	使用上	の注意	.1
本	書の読	み方	.4
1	はじめ	りに	.7
	1-1	特徴と機能	7
	1-2	機器の接続と運用	8
		1-2-1 コンピュータを1台接続する場合	8
		1-2-2 コンピュータを 2 台以上接続する場合	8
		1-2-3 仮想化 OS の構成例	10
	1-3	インストールの種類	11
	1-4	インストールの手順と動作確認	12
2	イン	ストールの準備	13
	2-1	インストールの前に	13
	2-2	動作環境	13
3	インス	ストール方法-Apache を選択-	14
	3-1	本製品のインストール	14
	3-2	ポップアップブロックの設定	27
	3-3	サーバ証明書のインストール	30
4	インス	<トール方法−IIS を選択−	37
	4-1	IIS の有効化と設定	37
	4-2	本製品のインストール	40
	4-3	ポップアップブロックの設定	48
	4-4	サーバ証明書のインストール	51
5	インス	ストール方法-Web サーバ不使用-	58
	5-1	本製品のインストール	58
6	シャン	ットダウン動作の確認	66
	6-1	シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用	66
		■基本設定(必ず使う設定)	68
		■応用設定(環境により使う設定)	69

	6-2	シャット	ダウンパラメータの設定-Webサーバ不使用	
		■基本	設定(必ず使う設定)	71
		■応用	設定(環境により使う設定)	72
	6-3	シャット	ダウンテスト	74
7	アン	インスト	、ール(削除)	76
	7-1	本製品の)アンインストール	
8	こん	なときに	-は	
	8-1	「HTTP	ポートをチェック」の警告が出たら	
		8-1-1	本製品のインストール途中でポート番号を変更する場合	
		8-1-2	インストール完了後に HTTP ポート番号を変更する場合	80
	8-2	UPS と迫	通信ができない	
		8-2-1	USB 接続の場合	
		8-2-2	Web サーバ使用環境	
		8-2-3	Web サーバ不使用環境	90
		■通信	ポートを「自動」で設定する	90
		■通信	ポートを「手動」で設定する	95
		8-2-4	「通信ポートの設定」で「手動」を選択する場合	
	8-3	復電時に	サーバを自動起動させる	
		8-3-1	UPS とコンピュータの自動起動設定	
		8-3-2	UPS 停止前に復電した場合にコンピュータが自動起動しない	
		■Web	サーバ使用環境	
		■Web	サーバ不使用環境	
付	録…			
	付-1	シャッ	トダウン動作シーケンス	
		付-1-1	初期設定値の動作シーケンス	
		付-1-2	応用設定した場合の動作シーケンス	
		付-1-3	UPSの出力停止前に復電した場合の注意点	

1 はじめに

1-1 特徴と機能

自動シャットダウンソフト PowerAct Pro MasterAgent(以下、本製品)は、冗長電源や出力コンセント制御な どの機能を搭載した電源管理ソリューションです。

本製品には以下の機能があります。

スケジュール運転	UPS の停止、起動や自己診断テストを行うことができます。
連携シャットダウン	ネットワーク上の複数のサーバやクライアントを連携してシャットダウンさせる
	ことができます。
出カコンセント制御	出力コンセント制御機能を搭載した UPS と本製品を組み合わせることにより、
	コンセントグループ毎に出力停止/開始時間を制御することができます。
マルチ OS 対応	Windows/Linux/Macintosh/Unixの4種のOSに対応しています。
GUI	グラフィカルな画面で各種設定をすることができます。
仮想化サーバ対応	Hyper-V に対応し、複数のゲスト OS をシャットダウンすることができます。ゲ
	スト OS へのインストールは不要です。
スクリプトシャットダウン	ソフトウェアをインストールできないアプライアンスサーバなども、スクリプト
	を使ってシャットダウンできます。
ping 監視・モバイル端末監視	Ping 応答による接続機器の死活監視やネットワーク上の端末の稼働状況監視、モ
	バイル端末からのコンセント制御(リブート)ができます。
SNMPv3 対応	SNMPv3 に対応し、セキュアな環境でネットワーク上の電源管理ができます。
CO2 監視機能	接続機器の消費電力から、CO2 排出量を手軽に測定できます。スケジュール運転
	機能と併用すれば、夜間・休日は、機器の稼働を停止させることで CO2 や電気料
	金の削減ができます。

参考

自動シャットダウンソフトとは

自動シャットダウンソフトは無停電電源装置(以下、UPS)に併用するソフトウェアで、一定時間内にシステムを 正常終了させ、ハードディスクやシステムファイルの破損等を防ぎます。

サーバーやコンピュータ等のシステムを UPS に接続される場合は、自動シャットダウンソフトのセット使用を推奨 します。

1-2 機器の接続と運用

PowerAct Pro はマスタとスレーブ、2つのソフトウェアで構成されます。

<u>マスタ</u>	UPS を管理するソフトウェアで、USB 又は RS232C ケーブル経由で常時 UPS を監視
(Master Agent)	します。停電時のシャットダウンやスケジュール運転、出力コンセント制御機能等を
	持っています。
	UPS 1台につき、マスタは1台です。
スレーブ	マスタの命令に従い OS をシャットダウンするソフトウェア。
(Slave Agent)	マスタとはネットワーク通信で連携します。

1-2-1 コンピュータを1台接続する場合

UPS 付属の通信ケーブルでコンピュータと UPS を接続し、本製品をインストールします。



1-2-2 コンピュータを2台以上接続する場合

- ■サーバ(または、一番長く稼働しているコンピュータ) UPS 付属の通信ケーブルでコンピュータと UPS を接続し、本製品をインストールします。
- コンピュータ(UPS と直接通信しないコンピュータ)
 以下のどちらかの方法で、マスタに連携して OS をシャットダウンします。
 ① スレーブをインストールする(スレーブ対応 OS)
 ② 本製品からスクリプトコマンドを発行する(スレーブ非対応 OS 等)



UPS に複数のコンピュータを接続する場合



1-2-3 仮想化 OS の構成例

Windows Server の Hyper-V 機能による仮想環境で使用する場合は、ホスト側に本製品をインストールします。

- マスタ/スレーブともにインストール可能です
- ・ マスタをインストールする場合は、RS232CまたはUSBで接続してください
- ・ スレーブをインストールする場合は、同一セグメントのネットワーク内にマスタが必要です



参考

ゲスト OS の終了処理は、ホストにインストールした本製品又はシステム側で行いますので、ゲスト OS にインストールする必要はありません。

1-3 インストールの種類

本製品は Web モニタ画面で各種設定、UPS の管理を行います。モニタ画面を表示する為に、Web サーバを 併用します。Web サーバは、Apache または WindowsOS 標準サービスの IIS (Internet Information Services) から選択してください。

尚、Webモニタ画面を使わずにコンソールから制御する方法もありますので、インストール前に以下3つの中から、どの方法で使用するか選択してください。

Apache を使用する場合	P.14 参照
IIS を使用する場合	P.37 参照
Web サーバを使用しない場合	P.58 参照

注意

Web サーバは、本製品同梱の Apache を推奨します。

既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。

参考

Web サーバを使用しない場合、GUI では簡単なシャットダウン項目のみの設定になります。

☞ P.70「6-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-」

簡単なシャットダウン項目以外はコンソールを使用して設定します。コンソールの設定方法については、別冊の『コン ソール設定ガイド』を参照してください。

モニタ画面

Power Act Pro Monitor OMRON-PC // http://127.0.0.1/cgi-bin/informati	: (フルアクセス) - In ion/firstpage.exe?iU	ternet Ex JPSNum=	kplorer =0							
OMRON				Ŧ	動エージェント検索	t: 💻 📃			検索	
システム	ログ	ι	JPS 設定		手動搏	操作		ヘルプ		
3時: 2016年05月24日 10:35:06 前回のバッテリ使用開始日(交換日):	次回のバッラ 2016年05月24日	<u> </u>	2017-05-24							
🗙 環境設定	UPS型式:		BN100T		ブザー:		なら	đ		
🙆 スケジュール	UPS状態: 出カコンセントA (制 出カコンセントB (制	御なし): (御あり):	商用運転中 出力中 出力中		ファンクションテ バッテリ自動テ UPSコールドス	・ストステータス: スト: タート機能:	する する しな!	,)) (//冊)() ((//冊)()		
💦 イベント情報	出カコンセントC(制	御あり):	出力中		UPS自動再起動	ласая. b):	100 する	v / two can can faith (an	• 	
📝 イベントログ	オッテリ(And E: 増設 バッテリ:		E#		通信ボート: テスト結果:	USB 1 💙	設	定		
₩ データログ	入力電圧:	40	60	80	100	120	140	101.5	v	
▶ 終了アブリケー	山力而在。	40	60	80	100	120	140	101.9	V	
◎ ション情報 ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○ □	出力电圧。	40	45	50	55	60	65	101.0	v	
🏥 エージェント検索	入力周波数:	40	45	50	55	60	65	49.9	Hz	
⑦ ヘルブ	出力周波数:	-10	15		55		05	49.9	Hz	
	接続容量:	0	25	50	75	100	125	0	%	
	「山田」変量・	0	25	50	75	100	125	100	94	
	71999日里。							100	70	

1-4 インストールの手順と動作確認

以下の手順で本製品のインストールと動作の確認をします。



2 インストールの準備

2-1 インストールの前に

インストールを開始する前に、以下の事項をご確認ください。

- ・Administrator 権限があるユーザ名で OS にログインしてください。
- ・ご環境でOSが正常に終了できることを確認してください。
- ・他の自動シャットダウンソフトを使用している場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、OSを 再起動してください。各ソフトウェアのアンインストール方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- ・UPS 付属の通信ケーブルでコンピュータと UPS と接続してください。

本製品は、オムロン製 UPS およびオムロン製 OEM 供給品の UPS 以外では使用できません。

2-2 動作環境

注意

WWW ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11.0/10.0
HTTP サーバ	Apache HTTP Server(本製品同梱)
	Internet Information Services(Windows OS 標準)
RAM	256MB 以上
ハードディスク容量	100MB以上
インターフェース	RS232C、USB
ネットワークカード	10Mbps 以上
プロトコル	TCP/IP

3 インストール方法 – Apache を選択 –

3-1 本製品のインストール

1 <u>当社ホームページ</u>より本製品をダウンロードする

ファイル名: PAPV515_Master_Windows.zip

2 ダウンロードした「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍する

参考

「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍すると、「PAPV515_Master_Windows」フォルダが作成されます。

注意

ダウンロードしたファイルが「フォルダにチャックのついたアイコン」の場合、ダブルクリックでは正常に解凍できないことがありますので、必ず、以下の方法で解凍してください。

- ① PAPV515_Master_Windows.zip アイコンを右クリックする
- ② コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックし、デスクトップ等、分かり易い場所を指定する



3 「PAPV515_Master_Windows」フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックする



4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - Ir	stallShield Wizard	×
	PowerAct Pro(Master Agent) セットファフ・ヘようこそ	
	このプログラムは、PowerAct Pro(Master Agent)をコンピュータに インストールします。このセットアップ。ブログラムを実行する前に、すべての Windowsブログラムを終了することを推奨します。	
	< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	,

5 「使用許諾契約」に同意いただければ「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し、 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
 ソフトウェア使用許諾契約書について 本ソフトウェアをパソコンへインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾書(以下本契約)内容(ここ同意いただけたものといたします。) ご同意(いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインストールしないでください。 レノフトウェア使用許諾契約書] オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフトウェア商品(は」下ソフトウェア)を使用許諾する条件を定めたも ◎ 使用許諾契約の全条項(こ同意します(A)) 	EDBI(P)
◎ 使用許諾契約の条項に同意しません(D) InstallShield	
	キャンセル

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本製品を使用できませんので、[キャンセル]ボタンをクリックしインストー

ルを中止してください。

6 「標準インストール(ネットワーク機能あり)」を選択して、[次へ(N)] ボタンをクリックする



参考

「標準インストール」を選択した場合は、ネットワーク経由で以下の機能を利用できます。

- ・Web モニタ画面で UPS の状態確認や制御、各種設定
- ・スレーブをインストールしたコンピュータのシャットダウン
- ・SNMP を利用したシャットダウン警告や指定したコンピュータへの UPS の動作情報の通知
- 7 「Apache Web サーバを使用する」を選択し、[次へ(N)] ボタンをクリックする

werAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard たけアラブ・タイブ・ こースに最も適したセットアップ・タイプを選択してください。 (ノストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D大へ]を炒ックして、操作を続行します。 (ノストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D大へ]を炒ックして、操作を続行します。 (ノストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D大へ]を炒ックして、操作を続行します。 (ノストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D大へ]を炒ックして、操作を続行します。 (ノストールする機能を選択してください。 (ノストールする機能を選択してください。) (ノストールする機能を選択してください。) (ノストールする機能を選択してください。) (ノストールする使用している場合は、IIS を選択してください。) 	
セットアップ \$47* ニースに最も適したセットアップ \$47*を選択してください。 小ストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D次へJを別ックして、操作を続行しま。 ● Apache Webサーバを使用する ● TS Webサーバを使用しない ● Webサーバを使用しない estallShied ● Apache Webサーバを使用する ● Webサーバを使用しない estallShied ● Apache Webサーバを使用しない ● Webサーバを使用している場合は、IIS を選択してください。	PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
 小ストールする機能を選択し、ハンストールしない機能の選択を解除します。D大へ」をツックして、操作を続行しま ▲pache Webサーバを使用する ● Webサーバを使用する ● Webサーバを使用している場合は、IIS を選択してください。 	セットアッフ[・] タイフ[・] ニースに最も適したセットアッフ [。] タイフ [・] を選択してください。
 ④ Apache Webサーバを使用する ● Webサーバを使用しない stallShield ✓ 戻る(B) (水へ(b)) キャンセル 注意 Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。 	インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D次へJを夘ックして、操作を続行します。 す。
 Webサーバを使用しない staliShield 文へ (い) キャンセル 注意 Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。 	
stallShield < <p> (戻る(B) 次へ(M) キャンセル 注意 Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 現存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。</p>	
く 戻る(B) 次へ (M) キャンセル 注意 Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。	nstallShield
<mark>注意</mark> Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。	< 戻る(B) (次へ (N)> キャンセル
Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。 既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。	注意
既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。	Web サーバとしては、本製品同梱の Apache を推奨します。
	既存のソフトウェアで Apache を使用している場合は、IIS を選択してください。

☞ P.37「4-1 ⅡSの有効化と設定」

参考 Web サーバを使用しない場合、GUI では簡単なシャットダウン項目のみの設定になります。 ☞ P.70「6-2 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ不使用 – 」 簡単なシャットダウン項目以外はコンソールを使用して設定します。コンソールの設定方法については、別冊の『コン ソール設定ガイド』を参照してください。

8 [OK] ボタンをクリックする

ระหาร
 PowerAct Proのモニタ画面を表示するために、"Apache HTTP Server"のインストールを行います。 "Apache HTTP Server"をインストールするために、"Apache HTTP Server セットアップ"画面に表示される"使用許諾契約"に同意する必 要があります。 (注意) "Apache HTTP Server"をインストールしなかった場合、PowerAct Proのモニタ画面からの設定操作などは一切できません。
ок

参考

環境によっては以下の画面が表示されますので、[インストール] ボタンをクリックしてください。

oache2.4.	38 - InstallShield Wizard
ట ్	oache24.37をコンピュータにインストールするには、以下のアイテムが必要です。「インストール」をクリックし 、これらの要件のインストールを開始します。
ステータス	要件
待機中	Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable Package (x86)
	インストールキャンセル

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

Apache2.4.38 - InstallShield Wizard	×
	Apache2.4.38 の InstallShield Wizard へようこそ InstallShield Wizard は、Apache2.4.38 をコンピューターにインストールしま す。続行するにには、D欠へ] をりりゅうしてください。
	< 戻る(B 、次へ (N)> キャンセル

10「使用許諾契約」に同意いただければ、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し、 [次へ(N)] ボタンをクリックする

Apac	he2.4.38 - InstallShield Wizard	— ×
使.)	用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
	Apache License Version 2.0, January 2004 http://www.apache.org/licenses/	A
	TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION	
	1. Definitions.	
	"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.	
	"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by	+
\langle	● 使用許諾契約の全条項に同意します(A) ● 使用許諾契約の条項に同意しません①	印刷(P)
Install	Shield	
	< 戻る(B) 次へ (N)>	++>UU

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本製品を使用できませんので、[キャンセル]ボタンをクリックしインストー

ルを中止してください。

11 [次へ(N)] ボタンをクリックする

Apache2.4.38 - InstallShield Wizard	— ×
インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルダーを選択します。	
セットアップパは、〉次のフォルタニー(こ Apache2.4.38 をインストールします。	
このフォルダーへのインストールは、じ次へ]ホダンをクリックします。	
別のフォルターヘインストールする場合は、「参照]ボタンをクリックしてフォルターを選択してください。	
インストール先のフォルダー	(100)
C:¥Program Files¥Apache2.4.38	───────────────────────────────
InstallShield 〈戻る(B) 沐へ (N)〉	++)/2/L

注意

Apache を書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。 必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では Apache のインストール先の変更が可能です。

変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

12 [インストール] ボタンをクリックする

Apache2.4.38 - InstallShield Wizard	.
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。	×.
[インストール] をクリックしてインストールを開始してください。	
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る」 をりりっりします。ウィザードを終了する します。	5(こは、[キャンセル]をクリック
InstallShield	
< 戻る(B) インストーノ	1 ++>\tell

13 [完了] ボタンをクリックする

Apache2.4.38 - InstallShield Wiza	ard
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンピューターへの Apache2.4.38 のインストールを完了しました。
	< 戻る(B) 元7 キャンセル

注意

[完了] ボタンをクリックすると一旦以下の画面を表示しますが、バックグラウンドで本製品のインストーラが起動していますので、次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

14 [次へ(N)] ボタンをクリックする



注意

本製品を書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。

必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では本製品のインストール先の変更が可能です。

変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

15 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard 🧮	
プログラム フォルダの選択 ブログラム フォルダを選択してください。	
セットアップは、 ン☆にリストされているプログラム フォルダにフログラム アイコンを追加します。 新しいフォルダ名を入力するか、 または既存のフォルダ リストから 1つを選択することもできます。 フ [*] ログラム フォルダ(P):	
PowerAct Pro 既存のフォルダ(⊗: Accessories	
Maintenance PowerAct Pro Startup	
InstallShield 〈 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

16 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	-X
ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。	Z
ブログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の〕動りです。設定を確認して、変更を必要とする場合 ホタンをクリックします。現在の設定でよい場合は、∁なへ]ホタンをクリックするとファイルのコピーを開始します。 現在の設定:	は戻る]
The install path: C:¥Program Files¥PowerAct Pro(Master Agent)¥ The main component folder: PowerAct Pro Web Server: Apache Webサーバを使用する	*
InstallShield	* }
	vell

17 [いいえ(N)] ボタンをクリックする

質問
SSLによる暗号通信を使用しますか?
はい(Y) いいえ(N)

参考

・暗号通信を使用する場合は [はい(Y)]を選択し、以下の画面は [OK] ボタンで閉じてください。

👷 PowerAct Pro SSL認	「証設定 🗾	
都道府県名(户):	Your state	
市町村名(上):	Your city	
会社名(N)	Your company	
部署名(U):	Your division	
サーバ名(<u>S</u>)	127.0.0.1	
プラペイトキー長(<u>B</u> it)	2048	
有効期間(<u>D</u>):	3650	
<u>K</u> ey パスフレイズ:	****	
0 <u>A</u> パスフレイズ:	****	
ОК	キャンセル	
owerAct Pro のイン	ストールが完了したら、「+	ナーバ証明書」 をインストールして
☞ P.30「3-3 サーノ	「証明書のインストール」	

18 「通信ポート」欄で「自動」または「手動」を選択し [OK] ボタンをクリックする



19 結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

Ĩ	通信ポートテスト結果					
	No.	通信ポート	UPS形式	Γ		
	1	USB1	BY50S			
	, <u>D</u> K					

参考

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、本製品と UPS の通信ができていません。インストール上は問題ありませんので、手順 21 の注意を確認した後、手順 22 に進んでください。

ここで UPS と通信させたい場合は P.85「8-2 UPS と通信ができない」を参照してください。

注意 通信ポートテスト結果」の結果が空欄の場合、次の手順 20、21 の画面は表示されません。

20「UPS 使用開始日」、「バッテリ使用開始日(交換日)」、「次回のバッテリ交換(予定日)」を設定し、 [OK] ボタンをクリックする



21 [OK] ボタンをクリックする



注意

バッテリ使用開始日を設定した後、以下警告画面が表示されることがあります。



☞ P.78 [8-1 「HTTP ポートをチェック」の警告が出たら」

22 [OK] ボタンをクリックする

Ѷ シャットダウンパラメータ				
シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動) 通	信設定)			
- シャットダウンパラメータ				
UPS出力コンセント選択	出力コンセントA(制御なし)			
待機時間	60 秒			
シャットダウン開始遅延	0 • 秒			
外部コマンドライン				
外部コマンド演行時間	0 • 秒			
シャットダウンに必要な時間	180 • 秒			
OS 終了モード	「休止状態」で終了する ▼			
仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する <u>▼</u>			
ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する			
UPS自動停止	す る ▼			
- その他のデバイス				
出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒			
出力コンセントB(制御あり)	0 🚽 秒			
出力コンセントC(制御あり)	0 • 秒			
- 入力電源異常時の最大バックアップ時間				
入力電源異常時の最大バックアップ時間	0 分			
ОК + #>>セル				

参考

「シャットダウンパラメータ」画面ではシャットダウン動作等、本製品の一部の機能が設定できます。 ☞P.70「6-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-」 「PowerAct Pro モニタ」では全ての機能設定ができます。 ☞P.66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」

23 [はい] ボタンをクリックする

問い合わせ	23
② Apache HTTP Serverのエラー表示をPowerAct Pro(Master Agent) 用に変更してもよろしいですか?	
(はい()) いいえ()	D

24 パスワードは1~15 文字の半角英数字(A~Z、a~z、0~9) で設定する



注意

大文字/小文字は区別されます。設定したパスワードはメモを取るなどして必ず保存しておいてください。

参考
本パスワードは「PowerAct Pro モニタ」にログインするときのパスワードです。
☞「6-1 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 – 」の手順 4(P.67)

25 [OK] ボタンをクリックする

アクセス権設定	
ログインID[Admin]のパスパ 設定したパスワードは忘れ	フードを設定してください。 ないようにしてください。
パスワード	****
バスワードの確認入力	****
	Ūĸ

26 [完了] ボタンをクリックして、デスクトップ画面に戻る

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard			
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンピュータへの PowerAct Pro(Master Agent) のインストールを 完了しました。		
< 戻る(B) (売了) キャンセル			

- 以上で Apache を使用した本製品のインストールは終了です。
- 続いて、P.26「3-2 ポップアップブロックの設定」に進んでください。

3-2 ポップアップブロックの設定

Internet Explorer を例にポップアップブロックの例外設定をします。



1 [スタート] ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」をクリックする



2 「インターネットオプション」をクリックする



3 [プライバシー] タブをクリックする



4 [ポップアップブロック] 欄の [設定(E)] ボタンをクリックする

🟗 インターネットのプロパティ	3			
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定	_			
設定 インターネット ソーンの設定を選択してください。 中 - コンパクトなプライバシー ポリシーのないサード パーティの Cookie をブ ロックします。 - 個人を特定できる情報を明示的な同意なしに保存するサード パーティ の Cookie をブロックします。 - 個人を特定できる情報を明然的な同意なしに保存するファースト パ ーティの Cookie を制限します。				
サイト(<u>S</u>) インポート(<u>I</u>) 詳細設定(<u>V</u>) 既定(<u>D</u>) 位置情報 ぜんしょう物理的な位置情報の要求を許可しない(<u>L</u>)				
ポップアップブロック── ▼ポップアップブロックを有効にする(<u>B</u>) InPrivate ── ▼ InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(I)				
OK キャンセル 適用(A)				

5 「許可する Web サイトのアドレス(W):」欄に「127.0.0.1」と入力し [追加(A)] ボタンをクリックする



6 「許可されたサイト(S):」欄に「127.0.0.1」の追加を確認し [閉じる(C)] ボタンをクリックする

🏗 ポップアップ ブロックの設定				
例外				
現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定のWeb サイトのポップアップを許可できます。				
許可する Web サイトのアドレス(<u>W</u>):				
	追加(A)			
許可されたサイト(S):				
127.0.0.1	削除(<u>R</u>)			
	すべて削除(E)			
通知とブロック レベッレ:				
✓ ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P)				
▼ ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)				
ブロック レペル(<u>B</u>):				
中:ほとんどの自動ポップアップをブロックする	-			
ポップアップブロックの詳細	MU3(C)			

以上でポップアップブロックの設定は終了です。

P.22 手順 17「SSL による暗号化通信」で「使用する」を選択した場合は、P.30「3-3 サーバ証明書のインストール」に、「使用しない」を選択した場合は、P.66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進んでください。

3-3 サーバ証明書のインストール

1 [スタート] ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」をクリックする



2 「インターネットオプション」をクリックする



3 「コンテンツ」タブをクリックする



4 [証明書(C)] ボタンをクリックする



5 「信頼されたルート証明機関」タブの [インポート(I)] ボタンをクリックする

証明書					×
目的(N): <3	すべて> 月線1月 (信頼されたルート記)	明機関	頃された発行元 信頼	されない発行元	•
発行先 AddTrust External America Online Ro Baltimore CyberTru Class 3 Public Pri Copyright (c) 1997 Cybertrust Global DigiCert Assured I DigiCert Global Ro 1ンポード① エクスポー 証明書の目的	発行者 AddTrust External C America Online Root Baltimore CyberTrust Class 3 Public Primar Copyright (c) 1997 Mi Cybertrust Global Root DigiCert Assured ID DigiCert Global Root ド(E)	有効期限 2020/05/ 2037/11/ 2025/05/ 2028/08/ 1999/12/ 2021/12/ 2031/11/ 2031/11/	フレンドリ名 USERTrust America Online Baltimore Cyber VeriSign Class 3 Microsoft Timest Cybertrust Globa DigiCert DigiCert	- 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王	-
				表示(⊻)	
証明書の詳細について表示し	<u>ます。</u>			閉じる(©)	

6 [次へ(N)] ボタンをクリックする

😢 証明書のインポート ウィザード		×
	証明書のインポート ウィザードの開始	
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リ ストをディスクから証明書ストアにコピーします。	
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データ を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供 するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管され るシステム上の領域です。	
	続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
	< 戻る(B) (次へ(N)) キャンセ	μ

7 [参照(R)] ボタンをクリックする

€ 証明書のインポート ウィザード
インポートする証明書ファイル インポートするファイルを指定してください。
ファイル名(E): 参照(B)
注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:
Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX.P12)
Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
Microsoft シリアル化された証明書ストア(SST)
証明書ファイルの形式の詳細について表示します。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8 「Program Files」フォルダ→「Apache2.4.38」フォルダ→「conf」フォルダから「server.crt」を選択し、 [開く(O)] ボタンをクリックする

❺ 開<		×
	conf 🕨 👻 😽 con	fの検索 👂
整理 ▼ 新しいフォルダー		:= - 🔟 🔞
4 퉬 Program Files 🧳	名前	更新日時
> 🍌 Adobe	🚽 🎴 extra	2019/02/25 15:24
4 🍌 Apache2.4.38 –	📕 original	2019/02/25 11:35
> 퉲 bin	lise lise	2019/02/25 11:35
> 퉲 cgi-bin	server.crt	2019/02/25 15:24
⊳ 퉲 conf		
> 퉲 error		
htdocs		
> 퉲 icons		
🎳 include 🔹		4
ファイル名(№):	server.crt 🗸 X.50	9 証明書 (*.cer;*.crt) 🔻
		<(<u>0</u>) マキャンセル

参考

「server.crt」のデフォルトのインストール先は OS によって異なります。

32bitOS の場合 C:¥Program Files¥Apache2.4.38¥conf

64bitOS の場合 C:¥Program Files(x86)¥Apache2.4.38¥conf

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする



10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

	×
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
◎ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
◎ 証明書をすべて、次のストアに記置する(P)	
証明書ストア:	
信頼されたルート証明機関 参照(民)	
証明書ストアの詳細を表示します	
	-
< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	

11 [完了] ボタンをクリックする



12 [はい(Y)] ボタンをクリックする



13 [OK] ボタンをクリックする


14 [閉じる(C)] ボタンをクリックする

証明書	—
目的(N): <<すべて>	
個人 ほかの人 中間語研究関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼	されない発行元
発行先 発行者 有効期限 フレンドリ名	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	E
AddTrust External AddTrust External C 2020/05/ USERTrust	
Baltimore CyberTru Baltimore CyberTrust 2025/05/ Baltimore Cyber	
🙀 🙀 Class 3 Public Pri Class 3 Public Primar 2028/08/ VeriSign Class 3	
Copyright (c) 1997 Copyright (c) 1997 Mi 1999/12/ Microsoft Timest	
DigiCybertrust Global Cybertrust Global Root 2021/12/ Cybertrust Globa	_
【ノンボード(D) [エクスポード(E)] 前豚(B)	詳細設定(<u>A</u>)
証明書の目的	
	表示()
証明書の詳細について表示します。	閉じる(C)

参考

「インターネットのプロパティ」や「ネットワークとインターネット」画面が開いていたら閉じてください。

以上で Apache 使用時のサーバ証明書のインストールは終了です。

続いて P. 66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進んでください。

4 インストール方法 – IIS を選択 –

4-1 IIS の有効化と設定

1 [スタート] ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」をクリックする



2 「プログラムと機能」をクリックする



3 「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックする

		- • •
	プログラムと機能	ラムと機能の検索 🔎
コントロール パネル ホーム インストールされた更新プロ グラムを表示	プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラ [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックしま	ムを選択して ます。
は無効化	2 整理 ▼	:= 🗸 🔞
	名前	発行元 🔺
	🖊 Adobe Flash Player 16 ActiveX	Adobe Systems _
	📙 Adobe Reader X (10.1.6) - Japanese	Adobe Systems
	Apache2.2.8	My Company Na
	📀 Google Toolbar for Internet Explorer	Google Inc.
Microsoft .NET Framework 4.5.1 Microsoft Cor		Microsoft Corpoi
IIII Microsoft .NET Framework 4.5.1 (日本語) Microsoft Corpu		Microsoft Corpo
	🔒 Microsoft Office Personal 2007	Microsoft Corpoi 🖕
	<	P.
	現在インストールされているプログラム 19 個のプログラムがインストールされています	

4 「インターネットインフォメーションサービス」の「+」マークをクリックし展開する

🔝 Windows の機能	
Windows の機能の有効化または無効化	0
機能を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてください。機能を無効にするには、チェック ボックスをオフにしてくた りつぶされたチェック ボックスは、機能の一部が有効になっていることを表します。	ざさい。 塗
▼ XPS サービス	•
■ ■ ▲ インターネット インフォメーション サービス	
■ 図 よディア機能	
④ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	E
□ 📙 簡易 TCP/IP サービス (echo、daytime など)	
☑ □ ↓ 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)	_
OK +	ャンセル

5 以下の画像と同じ部分にチェックを入れ [OK] ボタンをクリックする

💽 Windows の機能	- • ×
Windows の機能の有効化または無効化	0
機能を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてください。機能を無効にするには、チェ	ック ボックスを
オフにしてください。塗りつぶされたチェック ボックスは、機能の一部が有効になっていること	を表します。
😑 🔳 🧎 インターネット インフォメーション サービス	*
🖃 🔲 🚡 Web 管理ツール	
➡ IIS 6 と互換性のある管理	
➡ IIS 6 WMI 互換性	
⇒ V IIS 6 スクリプト ツール	
⇒ 図→ IIS 6 管理コンソール	
⇒ 図 IIS メタベースおよび IIS 6 構成との互換性	
⇒ M M IIS 官理コンソール	
IIS 管理サービス	
□ ● IIS 官理スクリノトおよびツール	
E III world wide web サービス	
⇒ ■● デイレクトリの参照 ■ ■ ■ 中央のドキュットト	
→ ■● 計5コンテンジ □ ■● アプリケーション関発機能	
	=
→ 図1 ISAPI 拡張機能	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ IP セキュリティ	
IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
□ Windows 認証	
□ ┣ クライアント証明書マッピング認証	
□	
□ 基本認証	
➡ 図]] 要求のフィルタリング	
🖂 🔲 🚡 健全性と診断	
→ 🖂 HTTP ログ	
□□□ ODBC ログ	
📃 אגאב דע	
📃 🔲 ログ ツール	
□ 追助	
➡ ▼ ▼ → 要求監視	
→ 図 # 静的コンテンツ圧縮	
□□□□ 動的なコンテンツの圧縮	-
□ □ □ ↓ インターネット インフォマーミュン H - ビフのホフト可能か Web コア	
ОК	キャンセル

6 「プログラムと機能」画面を閉じる

以上で IIS の有効化と設定は終了です。P.40「4-2 本製品のインストール」に進んでください。

4-2 本製品のインストール

1 <u>当社ホームページ</u>より本製品をダウンロードする

ファイル名: PAPV515_Master_Windows.zip

2 ダウンロードした「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍する

参考
 「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍すると、「PAPV515_Master_Windows」フォルダが作成されます。
ダウンロードしたファイルが「フォルダにチャックのついたアイコン」の場合、ダブルクリックでは正常に解凍でき
ないことがありますので、必ず、以下の方法で解凍してください。
① PAPV515_Master_Windows.zip アイコンを右クリックする
② コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックし、デスクトップ等、分かり易い場所を指定する
PAPV515_M 用<(O)
r_Windows 👌 分類して保護する
すべて展開(T)
ウイルススキャン
プログラムから開く(H) ▶

3 「PAPV515_Master_Windows」フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックする

++方/い)



4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard		×
	PowerAct Pro(Master Agent) セットアゥフ*へようこそ	
	このプロゲラムは、PowerAct Pro(Master Agent)をコンピュータに インストールします。このセットアップ。フロゲラムを実行する前に、すべての Windowsフロゲラムを終了することを推奨します。	
	< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

5 「使用許諾契約」に同意いただければ、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し、 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	—
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	A CA
ソフトウェア使用許諾契約書について 本ソフトウェア使用許諾契約書について トウェア使用許諾書(以下本契約)内容にご同意いただけたものと いたします。 ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインス トールしないでください。 【ソフトウェア使用許諾契約書】 オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフト ウェア商品(以下シロトウェア)を使用許諾する条件を定めたも ◎ 須用時にまれたのであっ酒に可考します(200	TERICO
 ● III.THE #14555 00 主 来想に回意しまり(D) ● 使用許諾契約の条項(こ同意しません(D) InstallShield 	==17401/6)

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本製品を使用できませんので、[キャンセル]ボタンをクリックしインストー

ルを中止してください。

6 「標準インストール(ネットワーク機能あり)」を選択し[次へ(N)] ボタンをクリックする



参考

- 「標準インストール」を選択した場合は、ネットワークを経由して以下の機能を利用することができます。
- ・Web モニタ画面で UPS の状態確認や制御、各種設定
- ・スレーブをインストールしたコンピュータのシャットダウン
- ・SNMP を利用したシャットダウン警告や指定したコンピュータへの UPS の動作情報の通知
- 7 「IIS Web サーバを使用する」を選択し [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	
セットアッフ* タイフ* ニースでに最も適したセットアッフ [®] タイフ*を選択してください。	
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D欠へ]をツックして、操作を続行しま ● Apache Webサーバを使用する ● IIS Webサーバを使用する ● Webサーバを使用しない	
InstallShield (戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

8 [次へ(N)] ボタンをクリックする



注意

本製品を書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。

必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では本製品のインストール先の変更が可能です。

変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
プログラム フォルダの選択 プログラム フォルダを選択してください。
セットアッフパは、)次にリストされているフログラム フォルダにフログラム アイコンを追加します。新しいフォルダ名を入力するか、 または既存のフォルダ リストから 1つを選択することもできます。 フログラム フォルダ(P):
PowerAct Pro
既存のフォルダ(<u>╳</u>):
Accessories Administrative Tools Maintenance
PowerAct Pro
InstallShield

10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	×
ファイル コヒ~の開始 ファイルのコヒ~を開始する前に、設定内容を確認してください。	No.
71かラムファイルのコピーを開始するための情報紙は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場 ホジッをグリックします。現在の設定でよい場合は、じ次へ」ホジッをグリックするとファイルのコピーを開始します。 現在の設定:	合は[戻る]
The install path: C:¥Program Files¥PowerAct Pro(Master Agent)¥ The main component folder: PowerAct Pro Web Server: IIS Webサーバを使用する	*
InstallShield (戻る(B) (次へ(N)))	++>>th

11 [いいえ(N)] ボタンをクリックする

質問
SSLによる暗号通信を使用しますか?
はい(Y) しいいえ(N)

参考

・暗号通信を使用する場合は [はい(Y)]を選択し、以下の画面は [OK] ボタンで閉じてください。

👷 PowerAct Pro SSL認	証設定 💽
都道府県名(P)	Your state
市町村名(上)	Your city
会社名(心)	Your company
部署名(U):	Your division
サーパ名(<u>S</u>):	127.00.1
プラペイトキー長(<u>B</u> it)	2048
有効期間(<u>D</u>):	3650
<u>K</u> ey パスフレイズ:	*****
0 <u>A</u> パスフレイズ:	****
ОК	* #>>セル
・PowerAct Pro のイ	ンストールが完了したら、「サ

バ証明書」をインストールしてください。

☞ P.51「4-4 サーバ証明書のインストール」

12 「自動」または「手動」を選択して、[OK] ボタンをクリックする



13 結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

通信ポート	テスト結果	
No.	通信ポート	UPS形式
1	USB1	BY50S

参考

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、本製品と UPS の通信ができていません。インストール上は問題ありませんので、[OK] ボタンをクリックし、手順 16 に進んでください。

ここで UPS と通信させたい場合は P.85「8-2 UPS と通信ができない」を参照してください。

注意 「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、手順 14、15の画面は表示されません。

14 「UPS 使用開始日」、「バッテリ使用開始日 (交換日)」、「次回のバッテリ交換(予定日)」を設定し、 [OK] ボタンをクリックする

バッテリ使用開始日(交換日)設定
【注意】 2000年1月1日以前の日付を設定することはできません。 設定する日付を再入力してください。 UPS使用開始日:
USB1 2015-03-12 +
パッテリ使用開始日(交換日):
2015-03-12
次回のパッテリ交換(予定日)
2016-03-12
<u><u>o</u>K ++>/2//</u>

15 [OK] ボタンをクリックする



16 [OK] ボタンをクリックする

シャットダウンパラメータ UPS出力コンヤント選択	出力コンセントA(制御なし)	~		
待機時間	60 • 秒	_		
シャットダウン開始遅延	0 1秒			
外部コマンドライン				
外部コマンド実行時間	0 • 秒			
シャットダウンに必要な時間	180 • 秒			
OS 終了モード	「休止状態」で終了する	•		
仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する	V		
ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する	v		
UPS自動停止	す る ▼			
その他のデバイス――				
出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒			
出力コンセントB(制御あり)	0 _ 秒			
出力コンセントC(制御あり)	0 _ 秒			
入力電源異常時の最大バックアップ時間――				
入力電源異常時の最大バックアップ時間	0 分			
ОК	+>>セル			

「PowerAct Pro モニタ」では全ての機能設定ができます。

☞P.66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」

17 パスワードは1~15 文字の半角英数字(A~Z、a~z、0~9) で設定する



注意 大文字/小文字は区別されます。設定したパスワードは、メモを取るなどして必ず保存しておいてください。

参考

本パスワードは PowerAct Pro モニタにログインするときのパスワードです

☞「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」手順4(P.67)

18 [OK] ボタンをクリックする

アクセス権設定	
ロダインID[Admin]のパス! 設定したパスワードは忘れ	フードを設定してください。 ないようにしてください。
パスワード	****
パスワードの確認入力	****

19 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - In	stallShield Wizard
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンピュータへの PowerAct Pro(Master Agent) のインストールを 完了しました。
	< 戻る(B) 売了 キャンセル

参考 「Program」フォルダ等開いている画面があれば、閉じてください。

以上で IIS を使用した本製品のインストールは終了です。

続いて、P.48「4·3 ポップアップブロックの設定」に進んでください。

4-3 ポップアップブロックの設定

Internet Explorer を例にあげてポップアップブロックの例外設定をします。



1 [スタート] ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」をクリックする



2 「インターネットオプション」をクリックする



3 [プライバシー] タブをクリックする



4 「ポップアップブロック」欄の [設定(E)] ボタンをクリックする

陆 インターネットのプロパティ
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
設定
中 - コンパクトなプライバシー ポリシーのないサード パーティの Cookie をブ ロックします。 - 個人を特定できる情報を明示的な同意なした保存するサード パーテ - の Cookie をブロックします。 - 個人を特定できる情報を暗黙的な同意なした保存するファースト パ ーディの Cookie を制限します。 - フィーク Cookie を制限します。
位置情報 ひんしていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい
ポップアップ ブロック ▼ポップアップ ブロックを有効にする(<u>B</u>) InPrivate ▼ InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(T)
OK キャンセル 適用(A)

5 「許可する Web サイトのアドレス(W):」欄に「127.0.0.1」と入力し [追加(A)] ボタンをクリックする



6 「許可されたサイト(S):」欄に「127.0.0.1」の追加を確認し [閉じる(C)] ボタンをクリックする

例外 現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定 のWebサイトのポップアップを許可できます。 許可するWebサイトのアドレス(<u>W</u>): 第一可されたサイト(S): 127.0.0.1 削除(<u>R</u>) すべて削除(<u>E</u>)	プブロックの設定
現在ポップアップはプロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定 のWebサイトのポップアップを許可できます。 許可するWebサイトのアドレス(W):	
許可する Web サイトのアドレス(<u>W</u>): (第一ざれたサイト(<u>S</u>): 127.0.0.1 削除(<u>R</u>) ずへて削除(<u>E</u>)	現在ポップアップはプロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定)Web サイトのポップアップを許可できます。
追加(A) 詳可されたサイト(S): 127.0.0.1 削除(E) すべて削除(E)	Neb サイトのアドレス(<u>W</u>):
許可されたサイト(<u>5</u>): 127.0.0.1 すべて削除(E)	追加(A)
127.0.0.1	
すべて削除(E) …	1 削除(民)
	すべて削除 <u>(E)</u>
通知とブロック レベッレ:	
☑ ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P)	ップのブロック時に音を鳴らす(<u>P)</u>
☑ ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)	パのブロック時に通知バーを表示する(<u>N</u>)
ブロック レベル(<u>B</u>):	JL(<u>B</u>):
中: ほとんどの自動ポップアップをブロックする	との自動ポップアップをブロックする
ポップアップブロックの詳細 関いる(の)	<u>ブロックの詳細</u>

参考

「インターネットのプロパティ」や「ネットワークとインターネット」画面が開いていたら閉じてください。

以上でポップアップブロックの設定は終了です。

P.44 手順 11「SSL による暗号化通信」で「使用する」を選択した場合は、P.51「4-4 サーバ証明書のインストール」に、「使用しない」を選択した場合は、P.66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進んでください。

4-4 サーバ証明書のインストール

1 [スタート] ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」をクリックする



2 「インターネットオプション」をクリックする



3 「コンテンツ」タブをクリックする



4 [証明書(C)] ボタンをクリックする



5 「信頼されたルート証明機関」タブの [インポート(I)] ボタンをクリックする

証明書					×
目的(N):	すべて〉				•
個人(ほかの人)中間調理	月機関 (管頼されたルート語	印現機関 (注東	順された発行元 信頼	されない発行元	
発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名		•
AddTrust External	AddTrust External C America Online Boot	2020/05/ 2037/11/	USERTrust America Opline		E
Baltimore CyberTru	Baltimore CyberTrust	2025/05/	Baltimore Cyber		
Class 3 Public Pri	Class 3 Public Primar Copyright (c) 1997 Mi	2028/08/ 1999/12/	VeriSign Class 3 Microsoft Timest		
Cybertrust Global	Cybertrust Global Root	2021/12/	Cybertrust Globa		
DigiCert Assured I	DigiCert Assured ID DigiCert Global Root	2031/11/ 2031/11/	DigiCert DigiCert		-
インポート() エクスポー	-ト(E) 削除(R)			() 詳細設定((<u>A</u>)
証明書の目的					
				「表示()/)	_
				\$0102	
証明書の詳細について表示し	<u>ます。</u>			開じる((

6 [次へ(N)] ボタンをクリックする

😢 証明書のインポート ウィザード		×
	証明書のインボート ウィザードの開始	
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リ ストをディスクから証明書ストアにコピーします。	
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データ を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供 するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管され るシステム上の領域です。	
	続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
	< 戻る(B) (次へ(N)) キャンセ	IL I

7 [参照(R)] ボタンをクリックする

€ 証明書のインポート ウィザード
インボートする証明書ファイル インボートするファイルを指定してください。
7ァイル名(E):
注意:次の形式を使うと1つのファイルに複数の証明書を保管できます:
Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12)
Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
Microsoft シリアル化された証明書ストア (SST)
証明書ファイルの形式の詳細について表示します。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8 「Program Files」フォルダ→「PowerAct Pro(Master Agent)」フォルダで「server.crt」を選択し、 [開く(O)] ボタンをクリックする

🔾 🗢 🐌 « Pro 🕨 PowerAct Pro(Maste	• • • • • PowerAct Pro(Master Agen •
整理 ▼ 新しいフォルダー	8= 🗸 🗖 🔞
]] PowerAct Pro(Master Agent) 🔶	名前
 Reference Assemblies teraterm Uninstall Information Windows Defender Windows Journal Windows Mail Windows Media Player Windows NT Windows Photo Viewer 	Co2Log Datalog Eventlog res SnmpAgent UpsinfeLog Server.crt
ファイル名(<u>N</u>): server.at	 ▼ X.509 証明書 (*.cer;*.crt) ▼ 開く(①) ▼ キャンセル

参考 本製品のデフォルトのインストール先は OS によって異なります。 32bitOS の場合 C:¥Program Files¥ PowerAct Pro(Master Agent) 64bitOS の場合 C:¥Program Files(x86)¥ PowerAct Pro(Master Agent) 9 [次へ(N)] ボタンをクリックする



10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

証	明書のインポートウィザード
	証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。
	Windows (ご証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。
	◎ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)
	◎ 証明書をすべて次のストア(こ配置する(P))
	信頼されたルート証明機関 参照(<u>R</u>)…
	証明書ストアの詳細を表示します
-	< 戻る(B) (次へ(N)>) キャンセル

11 [完了] ボタンをクリックする

証明書のインポート ウィザード	
	証明書のインボート ウィザードの完了
	I完了]をクリックすると、証明書がインボートされます。 次の設定が指定されました:
	く戻る(B) 完了 キャンセル

12 はい(Y)] ボタンをクリックする



13 [OK] ボタンをクリックする



14 [閉じる(C)] ボタンをクリックする

唐				
的(<u>N</u>):	(রুম্ব্রে)			
個人 ほかの人 中間証	明機関 信頼されたルート副	明機関 信頼	順された発行元 信頼	乾れない発行元
発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名	*
🔄 127.0.0.1	127.0.0.1	2025/03/	<なし>	E
AddTrust External .	AddTrust External C	2020/05/	USERTrust	
🛛 🔄 America Online Ro.	. America Online Root	2037/11/	America Online	
Baltimore CyberTru	Baltimore CyberTrust	2025/05/	Baltimore Cyber	
Glass 3 Public Pri	Class 3 Public Primar	2028/08/	VeriSign Class 3	
Copyright (c) 1997	Copyright (c) 1997 Mi	1999/12/	Microsoft Timest	
Cybertrust Global	Cybertrust Global Root	2021/12/	Cybertrust Globa	
DigiCert Assured I.	. DigiCert Assured ID	2031/11/	DigiCert	-
インボート(1) エクスポ	ミート(E) 賞 順金(R)	1		■詳細設定(A)
				division of the
証明書の目的				
				表示(⊻)
<u> 明書の詳細について表示</u>	します <u>。</u>			開じる(0)
				mode

参考

「インターネットのプロパティ」画面や「ネットワークとインターネット」画面が開いていたら閉じてください。

以上で IIS 使用時のサーバ証明書のインストールは終了です。

続いて P.66「6-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進んでください。

5 インストール方法 – Web サーバ不使用 –

5-1 本製品のインストール

1 当社ホームページより本製品をダウンロードする

ファイル名: PAPV515_Master_Windows.zip

2 ダウンロードした「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍する

参考

「PAPV515_Master_Windows.zip」を解凍すると、「PAPV515_Master_Windows」フォルダが作成されます。

注意

ダウンロードしたファイルが「フォルダにチャックのついたアイコン」の場合、ダブルクリックでは正常に解凍できないことがありますので、必ず、以下の方法で解凍してください。

- ① PAPV515_Master_Windows.zip アイコンを右クリックする
- ② コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックし、デスクトップ等、分かり易い場所を指定する



3 「PAPV515_Master_Windows」フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックする



4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard		
	PowerAct Pro(Master Agent) セットアゥフ*へようこそ	
	このプロゲラムは、PowerAct Pro(Master Agent)をコンピュータに インストールします。このセットアップ プロゲラムを実行する前に、すべての Windowsプロゲラムを終了することを推奨します。	
	< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

5 「使用許諾契約」に同意いただければ、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し、 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	AN I
 ソフトウェア使用許諾契約書について 本ソフトウェアをパソコンヘインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾書(以下本契約)内容にご同意いただけたものといたします。 ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインストールしないでください。 ビノフトウェア使用許諾契約書] オムロン株式会社(以下オムロンといいます)がお客様にソフトウェア商品(以下シノフトウェア)を使用許諾契約方を集項に同意します(A) ● 使用許諾契約の全条項(に同意します(A) 	「 王 J扇J(P)
● 使用許諾契約の条項に同意しません(D) InstallShield 〈 戻る(B) 次へ(N)>	キャンセル

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本製品を使用できませんので、[キャンセル]ボタンをクリックしインストールを中止してください。

6 「スタンドアローンインストール (ネットワーク機能なし)」を選択し、[次へ(N)] ボタンをクリックする



参考

「標準インストール」を選択した場合は、ネットワーク経由で以下の機能が利用できます。

・"Web サーバ使用マスタ"のWeb モニタから"Web サーバ不使用マスタ"のUPS 制御や各種設定と確認

- ・スレーブをインストールしたコンピュータのシャットダウン
- ・SNMP を利用したシャットダウン警告や指定したコンピュータへの UPS の動作情報の通知
- 7 「Web サーバを使用しない」を選択して、[次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	3
セットアッフ[*] タイフ* ニースで最も適したセットアップ [®] タイプ [®] を選択してください。	
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D次へ]をクリックして、操作を続行しま す。 ● Apache Webサーバを使用する ● IDS Webサーバを使用する ● Mebサーバを使用しない	
InstallShield 〈戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

8 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	— ×
インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルダを選択します。	
セットアッフペは、)次のフォルダビニ PowerAct Pro(Master Agent) をインストールします。	
このフォルダへのインストールは、「次へ]ホダンを夘ックします。	
別のフォルダヘインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルタを選択してください。	
インストール先のフォルダ C:¥Program Files¥PowerAct Pro(Master Agent)	参照(<u>R</u>)
InstallShield (戻る(B) (次へ (N))	++>tell

注意

本製品を書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。 必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では本製品のインストール先の変更が可能です。

変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	
フログラム フォルダの選択 フログラム フォルダを選択してください。	
セットアッフ"は、 次にリストされているフロケラム フォルタモフロケラム アイロンを追加します。 新しいフォルダ名を入力するか、 または既存のフォルダ・リストから1つを選択することもできます。 フロケラム フォルタギP):	
Power Act Pro	
既存のフォルタ(凶):	
Accessories Administrative Tools Maintenance	
PowerAct Pro	
Startup	
Instell ^C Isiald	
(人民る(B) (次へ(N)) キャンセル	

10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	×
ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。	X
ブログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場合に ホタンを列ックします。現在の設定でよい場合は、D欠ヘコホタンを列ックするとファイルのコピーを開始します。 現在の設定:	[戻る]
The install path: C¥Program Files¥PowerAct Pro(Master Agent)¥ The main component folder: PowerAct Pro Web Server: Webサーバを使用しない	*
・ InstallShield 〈戻る(B) (次へ(N)) キャン	+ + ! ! !

11 「自動」または「手動」を選択して、[OK] ボタンをクリックする

通信ポートの設定		
通信ポートの設定方法を選択してください。		
通信ポート 自動 _		
参 考		
「自動」を選択した場合、COM ポート、	USB ポートの順に UPS を検索します。	
「手動」を選択した場合、設定した COM ポートのみ検索します。		
☞ P.101「8-2-4 「通信ポートの設定」	で「手動」を選択する場合」	

12 結果を確認して [OK] ボタンをクリックする

通信ポートテスト結果					
	No.	通信ポート	UPS形式		
	1	USB1	BY50S		

参考

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、本製品と UPS の通信ができていません。インストール上は問題ありませんので、[OK] ボタンをクリックして手順 15 に進んでください。 ここで UPS と通信させたい場合は P.85「8-2 UPS と通信ができない」を参照してください。

注意

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、手順13、14の画面は表示されません。

13「UPS使用開始日」、「バッテリ使用開始日(交換日)」、「次回のバッテリ交換(予定日)」を設定し、 [OK] ボタンをクリックする

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
バッテリ使用開始日(交換日)設定
【注意】 2000年1月1日以前の日付を設定することはできません。 設定する日付を再入力してください。 UPS使用開始日:
USB1 2015-03-12
パッテリ使用開始日(交換日):
2015-03-12
、
2016-03-12
<u>о</u> к <u></u> \$+>>セル

14 [OK] ボタンをクリックする

「バッテリ使用開始日(交換日)設定結果			
No. 1	通信ポート USB1	バッテリ使 用開始日 2015-03-12	

15 [OK] ボタンをクリックする

🏹 シャットダウンパラメータ	X
Sugar Mich 1853 - 5 June to 44 / Estate 1 / 2	·/=
シャットダウンバンメータ UPS起動/用起動 加	11=12,722
ージャットダリンハラメーダー UPS出力コンセント選択	出力コンセントA(制御なし)
待機時間	60
シャットダウン開始遅延	0 ▼ 秒
外部コマンドライン	
外部コマンド実行時間	0 ▼ 秒
シャットダウンに必要な時間	180 • 秒
OS 終了モード	「休止状態」で終了する
仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する <u>▼</u>
ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する
UPS自動停止	す る ▼
- その他のデバイス	
出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒
出力コンセントB(制御あり)	0 _ 秒
出力コンセントC(制御あり)	0 _ 秒
- 入力電源異常時の最大バックアップ時間	
入力電源異常時の最大バックアップ時間	0 分
ОК	**>セル

参考

インストール完了後、デスクトップに作成される [シャットダウンパラメータ設定] のショートカットから本画面を 表示できます。

16 パスワードは1~15 文字の半角英数字(A~Z、a~z、0~9) で設定する

アクセス権設定	
ロダインID[Admin]のパスワ 設定したパスワードは忘れ!	フードを設定してください。 <u>ないように</u> してください。
パスワード	
パスワードの確認入力	
	<u>o</u> k

注意

大文字/小文字は区別されます。設定したパスワードはメモを取るなどして必ず保存しておいてください。

参考

本パスワード PowerAct Pro コンソールにログインするときのパスワードです。

☞「8-2-3 Web サーバ不使用環境」手順 4(P.91)

17 [OK] ボタンをクリックする

アクセス権設定	
ロダインID[Admin]のパスワ 設定したパスワードは忘れフ	フードを設定してください。 ないようにしてください。
パスワード	****
パスワードの確認入力	****
	<u><u> </u></u>

18 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard				
	InstallShield Wizard の完了 セットアッフ は、コンピュータへの PowerAct Pro(Master Agent) のインストールを 完了しました。			
< 戻る(B) 売了 キャンセル				

参考	
「Program」フォルダ等開いている画面があれば、	これを閉じてください。

以上で Web サーバを使用しない本製品のインストールは終了です。

続いて P.70「6-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-」に進んでください。

6 シャットダウン動作の確認

6-1 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 –

1 デスクトップの [PowerAct Proモニタ] アイコンをダブルクリックする



2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 本製品をインストールしたコンピュータ名をクリックする

<i>intp://127.0.0.1/ - Nets</i>	search Window - Interne	et Explorer				
OMRON			手動エージェ	ント検索: 🜉 📃		設定
システム	ログ	UPS 設定	手	動操作	ヘルプ	
🗙 環境設定		律府 UPS원국	LIPS##8	ビッテリ状態	清信おこり通信状態)
🙆 スケジュール	C OMRON-WIN7	BY50S	南用運転中	正常	USB1 (通信中)	^
💦 イベント情報						
📝 イベントログ						
📝 データログ						
🗟 終了アブリケー ション情報						
🏨 エージェント検索						
? ヘルゴ						
						~

4 「ログイン ID」に「Admin」、「パスワード」に本製品のインストール時に設定したパスワードを入力し [設定] ボタンをクリックする

<i>ittp://127.0.0.1/?server</i>	rip=127.0.0.1 - ログイン - Internet Explorer	
በቻ ብን		
בא פ אסי	インID: Admin ワード: wwww	
		愛定 キャンセル

注意

「Admin」の「A」は必ず大文字で入力してください。大文字/小文字は区別されます。

5 [環境設定]をクリックする

MRON				ŧ	動エージェント検索:				検素	
システム	ログ	ι	JPS 設定		手動操	作	,	ヘルプ		
9: 2015年03月12日 13:13:21 回のパッテリ使用開始日(交換日):	次回のバッ 2015年03月12日	テリ応換: 	2018-03-12							
🗙 環境設定	UPS型式:		BY505		ブザー:		2 6	さない		
	UPS状態:		南用運転中		ファンクションテス	いトステータス: ト:	する			
y x791-h	出力コンセントA((御なし):	出力中		UPSコールドスき		しね	а		
	曲力コンセントB(着	利御あり): 利御まり):	未対応		出力電圧ノ入力	感度:	100	∨/標準感度		
📸 イベント情報	ロカコンセンドに (#	1000	正常						-	
	増設パッテリに				通信ポート:	USB 1 🗸	EX.	E	1	
🖋 イベントログ					テノい結果:					
0	1.1.7.5	40	60	80	100	120	140	100.0		
7-909	人力電圧:	-						100.6	v	
■ 終了アブリケー	出力委任。	40	60	80	100	120	140	100.7	v	
😢 ション情報		40	45	EO		60	65			
WB	入力周波数:	40	43	30	55	60	65	50.0	Hz	
間 エージェント 夜宗		40	45	50	55	60	65			
	出力周波数:			_		Ĩ		50.0	Hz	
2 ~NJ		0	25	50	75	100	125			
	接続容量:							0	%	
		0	25	50	75	100	125			
	バッテリ密量:	-		-				100	%	
	次回のシャットダウン	(日時):			次回のUPS起動	(日時):				
	推定パックアップ時間									
	2015-03-12 12:	02:59通信	確立 [UPS(型式	: BY50	S / 通信ポート:U	SB 1)]UPSE	耐信を開始	台しました。		

注意

「UPS 形式」が空欄の場合、本製品と UPS の通信ができていません。

P.85「8-2 UPS と通信ができない」を参照してください。

6 シャットダウンパラメータの設定をする

🥑 http://127.0.0.1/ - シャッ	トダウンパラメータ - Internet Explo	orer		- • ×
OMRON				^
> シャットダウンパラメータ	 > UPS起動/再起動 > ログオプ 	ション)通信設定		
			デフォルト	
>> シャットダウン パラメータ ① エージェント選択 ② 冗長電源設定 ② その他のデバイス ③ Wake ON LAN 設定 ③ 出力コンセント情報	エージェンド選択 UPSはカコンセンド選択 作様時間 シャットダウン開始通道 外部コマンドライン 外部コマンド美行時間	OMRON-WIN7(マスター) マ 出力コンセナム (別向なし) マ 60 マ 9 マ 9 マ 9 マ 9 マ 9 ア 9 ア	設定● Ⅲ	
8 スクリプトンャットダウン	シャッドダウンに必要な時間 OS核子モード 仮想サーパ除子モード がえ hOS除子モード UPS自動停止	180 ゆ 「休止状態」で終了する マ 「の51が終了する マ 「シャナダウン」で終了する マ 「ある マ		
	6		(豊定) キャンセル	-

■基本設定(必ず使う設定)

項目	設定内容				
待機時間	本製品が入力電源異常を検出してから、シャットダウン動作を開始す				
	るまでの時間を設定します。				
	初期値:60秒				
	☞待機時間内に復電(電源の復旧)を検出した場合、シャットダウン				
	動作は開始しません。				
	☞0秒に設定した場合は入力電源異常を検出後、即シャットダウンが始				
	まります。ある程度余裕をもった時間を設定してください。				
シャットダウンに必要な時間	OS がシャットダウンを開始した時点から、UPS が自動停止するまで				
	の時間を設定します。				
	初期値:180 秒				
	※OS のシャットダウン途中で UPS が出力停止しないように、ある程				
	度余裕をもった時間を設定してください。				
OS 終了モード	OS の終了モードを設定します。				
	「シャットダウン」で終了する				
	「休止状態」で終了する				
UPS 自動停止	シャットダウン時に UPS を停止する設定です。				
	初期値:する				
	☞する UPSは「シャットダウンに必要な時間」経過後、出力停止				
	します。				
	☞しない UPS はバッテリが尽きるまでバックアップ運転を継続し				
	ます。				

■応用設定(環境により使う設定)

項目	設定内容
シャットダウン開始遅延	UPS に複数台のコンピュータを接続している環境で、他のコンピュータよ
	りシャットダウンの開始を遅くする場合に設定します。
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)
	初期値:0秒(遅延なし)
外部コマンドライン	シャットダウン時に実行するプログラムのコマンドを入力します。
	プログラムの実行時間は下段の「外部コマンド実行時間」で設定します。
	※「実行するプログラム」とはデータを保存するプログラムなどを指します。
外部コマンド実行時間	「外部コマンドライン」で設定したプログラムの実行に必要な時間を設定し
	ます。実行中は OS のシャットダウン動作を一時停止します。
	設定範囲:0~600 秒(60秒単位で設定できます)
	初期值:0秒

参考

- ・設定を変更したら、必ず [設定] ボタンをクリックしてください。
- ・シャットダウンパラメータ画面を閉じる場合は、[キャンセル] ボタン又は、画面右上の [×] ボタンをクリックしてください。
- 以上で Web サーバを使用したシャットダウンパラメータの設定は終了です。

続いて P.74「6-3 シャットダウンテスト」に進んでください。

6-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-

1 タスクトレイの常駐アイコンを右クリックし [エージェント停止] を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 デスクトップの [シャットダウンパラメータ設定] をダブルクリックする



注意

[シャットダウンパラメータ設定] で設定を変更する場合は、必ずエージェントを停止してください。

参考

「シャットダウンパラメータ」画面は、[スタート] ボタン→「すべてのプログラム」→「PowerAct Pro」

→「シャットダウンパラメータ設定」からも開けます。



4 シャットダウン動作の基本的な項目を設定する

∛ シャットダウンパラメータ	
ショットガウンパラメータ ↓ IDCおお / 西おお ↓ 3巻	(##20
	IEEXAE
UPS出力コンセント選択	出力コンセントA(制御なし)
待機時間	10 秒
シャットダウン開始遅延	0 • 秒
外部コマンドライン	
外部コマンド実行時間	0 • 秒
シャットダウンに必要な時間	180 • 秒
OS 終了モード	「休止状態」で終了する ▼
仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する
ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する
UPS自動停止	す る ▼
その他のデバイス	
出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒
出力コンセントB(制御あり)	0 • 秒
出力コンセントC(制御あり)	0 _ 秒
- 入力電源異常時の最大バックアップ時間	
入力電源異常時の最大バックアップ時間	0 分
ОК	+v)2h

■基本設定(必ず使う設定)

項目	設定内容
待機時間	本製品が入力電源異常を検出してから、シャットダウン動作を開始す
	るまでの時間を設定します。
	初期值:60秒
	☞待機時間内に復電(電源の復旧)を検出した場合、シャットダウン
	動作は開始しません。
	☞0秒に設定した場合は入力電源異常を検出後、即シャットダウンが始
	まります。ある程度余裕をもった時間を設定してください。
シャットダウンに必要な時間	OS がシャットダウンを開始した時点から、UPS が自動停止するまで
	の時間を設定します。
	初期値:180 秒
	※OS のシャットダウン途中で UPS が出力停止しないように、ある程
	度余裕をもった時間を設定してください。
OS 終了モード	OSの終了モードを設定します。
	「シャットダウン」で終了する
	「休止状態」で終了する
UPS 自動停止	シャットダウン時に UPS を停止する設定です。
	初期値:する
	☞する UPSは「シャットダウンに必要な時間」経過後、出力停止
	します。
	☞しない UPS はバッテリが尽きるまでバックアップ運転を継続し
	ます。
■応用設定(環境により使う設定)

項目	設定内容				
シャットダウン開始遅延	UPS に複数台のコンピュータを接続している環境で、他のコンピュータよ				
	りシャットダウンの開始を遅くする場合に設定します。				
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)				
	初期値:0秒(遅延なし)				
外部コマンドライン	シャットダウン時に実行するプログラムのコマンドを入力します。				
	プログラムの実行時間は下段の「外部コマンド実行時間」で設定します。				
	※「実行するプログラム」とはデータを保存するプログラムなどを指します。				
外部コマンド実行時間	「外部コマンドライン」で設定したプログラムの実行に必要な時間を設定し				
	ます。実行中は OS のシャットダウン動作を一時停止します。				
	設定範囲:0~600 秒(60秒単位で設定できます)				
	初期值:0秒				

参考

「基本設定」はどの環境でも必ず使用します。「応用設定」は、必要に応じて使用してください。

- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 常駐アイコンを右クリックし、[エージェント起動]を選択する



7 常駐アイコンの×が消えることを確認する



以上で Web サーバ不使用時のシャットダウンパラメータの設定は終了です。

続いて、P.74「6-3 シャットダウンテスト」に進んでください。

6-3 シャットダウンテスト

UPS を停電状態にしてコンピュータのシャットダウンテストを実施します。

参考
シャットダウンテストでは以下2つの動作を確認してください。
①コンピュータがシャットダウンすること
②コンピュータのシャットダウン完了後に UPS の出力が停止すること(UPS が OFF になること)
動作イメージは P.108「付-1-1 初期設定値の動作シーケンス」を参照してください。

1 タスクトレイの常駐アイコンが「商用運転中」になっていることを確認する

アイコン	状 態	備 考		
	商用運転中	UPS と本製品は通信中です。		
- En		入力電源に異常はありません。		
æ	通信エラー	UPS と本製品の通信ができていません。		
₽		この状態では停電が発生してもシャットダウンできません。		
		通信ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。		
		P.85「8-2 UPS と通信ができない」を参照してください。		
	入力電源異常	入力電源の異常で UPS はバックアップ運転(バッテリ出力)中		
		です。		
		原因として停電、電圧または周波数の変動などが考えられます。		

2 UPSのAC入力プラグをコンセントから抜いて、停電状態にする

参考 本製品が停電を検出すると常駐アイコンが「入力電源異常」に変わります。

3 常駐アイコンが「入力電源異常」に変ったら「待機時間」経過後(初期値 60 秒)に OS のシャットダウンが 始まることを確認する



4 OS のシャットダウン開始から「シャットダウンに必要な時間」経過後(初期値 180 秒)、UPS の出力が停止することを確認する

注意

シャットダウンパラメータで「UPS 自動停止・しない」を選択した場合は、バッテリ残量が無くなるまで UPS の出力は停止しません。

参考

UPS が停止する(UPS が OFF になる)と、UPS 本体の「状態表示」や LCD が消灯します。

5 UPSのAC入力プラグをコンセントに挿し、復電させる

参考

復電すると UPS が自動再起動(UPS が ON)します(工場出荷値)。

UPS 側で自動再起動「しない」設定にしている場合は、復電しても自動再起動しません。

注意

手動でコンピュータの電源を入れる場合は、UPSが停止する前にコンピュータを起動させないよう注意してください。

☞P.110「付-1-3 UPS の出力停止前に復電した場合の注意点」

以上でシャットダウンテストは終了です。



7-1 本製品のアンインストール

参考 本製品をアンインストールする時は、起動しているソフトウェアを停止してください。

1 [コントロールパネル] →「プログラムと機能」を開き、「PowerAct Pro(Master Agent)」をダブルクリッ クする



参考

本製品はインストーラーを使って削除することもできます。

インストーラーで削除する場合は、インストールした本製品と同じバージョンの setup.exe を起動し、画面の指示に 従って削除してください。

2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - In	stallShield Wizard
	アンインストール完了 InstallShield Wizard は PowerAct Pro(Master Agent) のアンインストー ルを完了しました。
	< 戻る(B) 元了 キャンセル

参考 PowerAct Pro 同梱の Apache を使用している場合は、同様の手順で「Apache2.4.38」を削除してください。

- 4 Windows 7 を再起動する
- 以上で本製品のアンインストールは終了です。

8 こんなときには

8-1 「HTTP ポートをチェック」の警告が出たら

「3-1 本製品のインストール」の手順21(P.24)の後に警告画面が表示されることがあります。

この場合、本製品の Apache が使用する HTTP ポートを別のプログラムで使用している状態ですので、 Apache のポート番号を変更してください。

8-1-1 本製品のインストール途中でポート番号を変更する場合

1 [OK] ボタンをクリックし警告画面を閉じる



2 [通信設定] タブの「HTTP ポート」を変更し [OK] ボタンをクリックする

🏹 シャットダウンパラメータ	
シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動	通信設定
- ネットワークボートアドレス	
НТТР#	
HTTPS术	
SMTP#	-> 25
SNMP#	
Syslogボ	
	□ リモートアクセス禁止
	* IPアドレスlocalhostを使用して、マスターエージェントヘア クセスして (ださい。
	* 設定を有効にするために、Apache HTTP Serverを再 起動します。
SM	IMP 無効 ▼
ブロードキャ	^{人ト} 有効 ▼
	Automa 1
ОК	**/2//

参考

HTTP ポート番号の初期値:80

本例では HTTP ポートを 80 から 8080 に変更しています。

注意

「3-1 本製品のインストール」手順 17(P.22)で「SSL による暗号化通信を使用する」を選択した場合は HTTPS ポート番号を変更してください。

HTTPS ポート番号の初期値:443

3 手順23 (P.25) に戻る

8-1-2 インストール完了後に HTTP ポート番号を変更する場合

1 タスクトレイの常駐アイコンを右クリックし [エージェント停止] を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 [Program Files] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダ → [ConfigShutdownParameter.exe] をダブルクリックする



参考

本製品のデフォルトのインストール先は OS によって異なります。 32bitOS の場合 C:¥Program Files¥ PowerAct Pro(Master Agent) 64bitOS の場合 C:¥Program Files(x86)¥ PowerAct Pro(Master Agent) 4 [通信設定] タブの「HTTP ポート」を変更し [OK] ボタンをクリックする

🏹 シャットダウンパラメータ	
シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動	Maspie
- ネットワークボートアドレス	
НТТРЖ-К	8080
HTTPSポート	0
SMTPポート	25
SNMPポート	161
Syslogボート	514
	□ リモートアクセス禁止
	* IPアドレスlocalhostを使用して、マスターエージェントヘア クセスして ください。
	* 設定を有効にするために、Apache HTTP Serverを再 起動します。
SNMP	無効 ▼
10-144/1	有効 _
ок	キャンセル

参考

本例では80を8080に変更しています。

HTTP ポート番号の初期値:80

注意

「3-1 本製品のインストール」手順 17(P.22)で「SSL による暗号化通信を使用する」を選択した場合は HTTPS ポート番号を変更してください。

HTTPS ポート番号の初期値:443

5 常駐アイコンを右クリックし、[エージェント起動]を選択する



6 常駐アイコンの×が消えることを確認する



7 デスクトップの [PowerAct Proモニタ] アイコンを右クリックし [プロパティ] を選択する



8 [セキュリティ] タブをクリックする

JRL(U):	http://127.0.0.1:80/PowerAct_Pro/			
ショートカット トー(K):	なし			
長示回数:	不明			
	アイコンの変更(C)			

9 [編集(E)] ボタンをクリックする

PowerAct Proモニタのプロパティ	
全般 Web ドキュメント セキュリティ 詳細 以前のバージョン	
オブジェクト名: C¥Users¥Public¥Desktop¥PowerAct Proモニタルrl	
グループ名またはユーザー名(G):	
SYSTEM	
8	
SE INTERACTIVE	
アクセス許可を変更するには U編集]をクリック:	
SYSTEM のアクセス許可(P) 許可 拒否	
フルコントロール	
していた。 読み取りと実行 ✓	
読み取り 🗸	
書き込み 🗸	
特殊なアクセス計可	
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、「そそのできつへ」	
国業希腊改定」をクリックします。	
アウセス制御とアウセス許可の詳細を表示します。	
OK キャンセル 適用(A)	

10「グループ名またはユーザー名(G):」欄で、ログインしているユーザー名をクリックし 「アクセス許可(P):」欄の「フルコントロール」にチェック、[適用(A)] ボタンをクリックする

🗼 PowerAct Proモニタ のアクセス許可	×
セキュリティ	
オブジェクト名: C¥Users¥Public¥Desktop¥PowerAct	Proモニタurl
グループ名またはユーザー名(G):	
R SYSTEM	
()	BIR#(R)
orman のアクセスはモゴ(P) :2000 07.1	振不
フルコントロール	
変更	
読み取り 図	
書き込み 🛛	
<u> アクセス朝御とアクセス#F可の詳細を表示します。</u>	_
OK キャンセル	通用(A)

11 [Web ドキュメント] タブをクリックし「URL(U):」欄でポート番号を修正し、 [OK] ボタンをクリックする

🛃 PowerAct Pr	●モニタのプロパティ
全般 Web Ki	キュメント・ウキュリティ 詳細 以前のバージョン
Dow	verAct Proモニタ
URL(U):	http://127.0.0.1:8080/PowerAct_Pro/
ショートカット キー(K):	なし
表示回数:	不明
	アイコンの変更(C)
	OK キャンセル 適用(A)

参考

ポート番号は、手順4(P.81)で変更したものに修正してください。

例) ポート番号を 80 から 8080 に変更した場合

http://127.0.0.1:80/PowerAct_Pro/

 \downarrow

http://127.0.0.1:8080/PowerAct_Pro/

8-2 UPS と通信ができない

本製品は USB ポートまたは RS232C ポート (COM ポート) 経由で UPS の状態をモニタします。

以下のチャートを参考に、本製品と UPS の通信を確立してください。



8-2-1 USB 接続の場合

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外す
- 2 USB ケーブルを再接続し、30 秒程度(UPS が再検出される時間)待つ



8-2-2 Web サーバ使用環境

1 デスクトップの [PowerAct Pro モニタ] をダブルクリックする



2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 本製品をインストールしたコンピュータ名をクリックする

) http://127.0.0.1/ - Netse	earch Window - Interne	t Explorer				
OMRON			手動エージェ	ント検索: 💻 📃		設定
システム	ログ	UPS 設定	手	動操作	ヘルプ	
🗙 環境設定						
🕐 スケジュール	₹29-/20-3#	i成 UPS型式 BY50S	UPS状態 南用運転中	パッテリ状態 正常	通信ポート(通信状態 USB1 (通信中))
💦 イベント情報						
📝 イベントログ						
📝 データログ						
終了アブリケー ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション情報 ション オート ジョン ジャン ジョン ジョン ジョン ジョン ジャン ジャン ジョン ジャン ジョン ジャン ジャン ジョン ジョン ジャン ジャン						
🏥 エージェント検索						
? ヘルブ						
						~

4 「ログイン ID」に「Admin」、「パスワード」にインストール時に設定したパスワードを入力し [設定] ボタンをクリックする

OMRON	
ログインID: Admin ノ(スワード: *******) 。	
	夏定 キャンセル

注意 大文字/小文字は区別されます。

5 [環境設定]をクリックする

OMRON		手動エージェント検索: 🚃 検			
システム	ログ	UPS 設定	手動操作	ヘルプ	
日時: 2015年03月17日 18:28:43 前回のバッテリ使用開始日(交換日):	次回のバッテ 2015年03月17日	リ交換: 2016-03-17			
 環境設定 	UPS型式: UPS状態: 出力コンセントA (別 出力コンセントB (別	月前なし): 月前なし):	ブザー: ファンクションテストステータス: バッテリ自動テスト: UPSコールドスタート騒旋: 出力車圧ノ入力威度:	ならさない する する しない 100V/価本成実	

6 [通信設定] をクリックする

OMRON		
> シャットダウンパラメータ	 > UPS起動/再起動 > ログオプション > 通信設定 	
		デフォルト
>> シャットダウン パラメータ		
◎ エージェント選択	UPS出力コンセント選択 出力コンセントA (制御なし) ∨	
 冗長電源設定 	法师研究 20 20	

7 [自動選択] ボタンをクリックする

OMRON					
>シャットダウンパラメータ	▶UPS起動/再起動	▶ ログオプション	> 通信設定		
					デフォルト
>> 通信設定	通信ポート				
▣ 通信設定	No.	通信ポート	UPS型式	修正	
■ Mail 設定					\sim
■ SNMP V1 設定				ポート追加	自動選択
■ SNMP V3 設定	ネットワークボー	ト設定			

参考

「UPS 型式」が表示されれば通信が確立した状態です。

OMRON						
>シャットダウンパラメータ	▶UPS起動/再起動	> ログオプション	> 通信設定			
					デフォルト	
» 通信設定	通信ポート					
 通信設定 	No.	通信ポート USB 1	UPS型式 BN100S	修正 		
▶ Mail 設定				8	3 V	
● SNMP V1 設定				ポート追加	自動選択	
▶ SNMP V3 設定						

8 「通信設定」、「PowerAct Pro モニタ」画面を閉じる

8-2-3 Web サーバ不使用環境

■通信ポートを「自動」で設定する

1 [Program Files] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダ → [PowerActProConsole.exe] をダブルクリックする



参考 本製品のデフォルトのインストール先は OS によって異なります。 32bitOS の場合 C:¥Program Files¥ PowerAct Pro(Master Agent) 64bitOS の場合 C:¥Program Files(x86)¥ PowerAct Pro(Master Agent)

2 「2」を入力し「Enter」キーを押す



3 「3」を入力し「Enter」キーを押す 「IP address of PowerAct Pro master agent:」欄に「127.0.0.1」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe
[NetSearch Window Menu]
1. Show NetSearch Information 2. Monitor PowerAct Pro Master Agent 0. Exit PowerAct Pro Console
Select Number -> 2
F Input ID and Password Menu] 1. Select by ID of Master Agent 2. Select by Host Name of Master Agent <u>3. Select by IP Address of Master Agent</u> 0. Return
Select Number -> 3
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1
•

4 「1. Login ID:」欄に「Admin」を入力し、「Enter」キーを押す 続いて、「2. Password:」欄に本製品のインストール時に設定したパスワードを入力し、「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe	×
[Input ID and Password Menu]	
 Select by ID of Master Agent Select by Host Name of Master Agent Select by IP Address of Master Agent Return 	
Select Number -> 3	
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1	
[User Login Window]	
1. Login ID:Admin 2. Password:****	
	-

5 キーボードの「Q」キーを押す

🗈 C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe					
E======[[PowerAct Pro Monitor (0 [Date And Time]: 2016 [Battery Use Date]: 2016	PowerAct Pro Co MRON-PC/Full A -05-24 11:08:22 -05-24	nsole Monitor]======= ccess)] [Next Battery Replace Da	te]: 2017-05-24		
UPS Model: UPS Status: Output A: Output B: Output C: Battery Status: Additional Battery Unit:	LUPS Set BN100T On Line Output Start Output Start Output Start Normal	ting] Buzzer Status: Function Test Status: Battery Auto Test: UPS cold start status: Input Sensitivity: UPS Auto Reboot: Presumed Backup Time:	On On On Off 100V/Standard On 5636		
Input Voltage: Output Voltage: Load Level: Communication Port: [Nex Next Shutdown Start:	LUPS D 101.3V 101.5V 0% USB1 t Shutdown Star	ata] Input Frequency: Battery Capacity: Test Result: t / Next UPS Restart] Next UPS Restart:	49.9Hz 49.9Hz 100%		
Next Shutdown Start: Next UPS Restart: 					

6 「1」を入力し「Enter」キーを押す



7 「1」を入力し「Enter」キーを押す



8 「4」を入力し「Enter」キーを押す



9 「1」を入力し「Enter」キーを押す



10 「11」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe				
1. Remote Access:	Enable	*		
2. HTTP Port:	80			
3. HTTPS Port:	N/A			
4. SMTP Port:	25			
5. SNMP Port:	161			
6. SysLog Port:	514 -	- 1		
7. SNMP Access:	Disable			
 8. Broadcast Access: 	Enable			
9. Page Refresh Rate(Sec):	30			
10. LogOff Time(Min):	30			
11. Communication Port Setting				
0. Return				
10 <mark>10000000000000000000000000000000000</mark>				
Select Number -> 11		*		

11「1」を入力し「Enter」キーを押す



参考 「UPS Model」に接続している UPS の型式が表示されれば、UPS と通信が確立した状態です 本例では USB ポートに BN100T を検出しています。
C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe [Communication Basal Setting of OMRON-PC(Master Agent)] 11. Find UPS 1. Auto 2. Manual 3. COM List 0. Return Select Number : 1 Updating the setting values. Please wait. [Communication Port List of OMRON-PC(Master Agent)]
No. Communication Port UPS Model 1 USB1 BN100T Press Enter Key To Continue
☞「Communication Port List」に UPS が自動検出されるまで時間がかかることがあります。

- 12 「Enter」キーを押し、手順 11 の画面に戻る
- **13**「0」を入力後「Enter」キーを押し一つ前の画面に戻る 以後同様の操作で「PowerActProConsole」を閉じる

■通信ポートを「手動」で設定する

1 [Program Files] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダ → [PowerActProConsole.exe] をダブルクリックする



参考	
本製品のデフォル	レトのインストール先は OS によって異なります。
32bitOS の場合	C:¥Program Files¥ PowerAct Pro(Master Agent)
64bitOS の場合	C:¥Program Files(x86)¥ PowerAct Pro(Master Agent)

2 「2」を入力し「Enter」キーを押す



3 「3」を入力し「Enter」キーを押す 「IP address of PowerAct Pro master agent:」欄に「127.0.0.1」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe
[NetSearch Window Menu]
1. Show NetSearch Information 2. Monitor PowerAct Pro Master Agent 0. Exit PowerAct Pro Console
Select Number -> 2
F
Select Number -> 3
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1
-

4 「1. Login ID:」欄に「Admin」を入力し「Enter」キーを押す 続いて、「2. Password:」欄に本製品インストール時に設定したパスワードを入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProConsole.exe	-
t	1
 Select by ID of Master Agent Select by Host Name of Master Agent Select by IP Address of Master Agent Return 	
Select Number -> 3	
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1	
[User Login Window]	
1. Login ID:Admin 2. Password:*****	
	÷

5 キーボードの「Q」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥Powe	rAct Pro(Master Age	nt)¥PowerActProConsole.exe		3
[PowerAct Pro Monitor (0 [Date And Time]: 2016	PowerAct Pro Co MRON-PC/ Full A -05-24 11:08:22	nsole Monitor]======== ccess)]		* III
[Battery Use Date]: 2016	-05-24 -05-24 EUPS Set	[Next Battery Replace Da	te]: 2017-05-24	
UPS Model: UPS Status:	BN100T	Buzzer Status: Eurotion Test Status:	On On	
Output A: Output B:	Output Start	Battery Auto Test:	On Off	
Output C: Pattory Status:	Output Start	Input Sensitivity:	100V/Standard	
Additional Battery Unit:		Presumed Backup Time:	5636	
Input Voltage: Output Voltage:	101.3V 101.5V 0%	alaj Input Frequency: Output Frequency: Battery Canadity:	49.9Hz 49.9Hz 100%	
Communication Port:	USB1 t Shutdawa Star	Test Result: + / Next UPS Peetert]	100%	
Next Shutdown Start:	E Shutuowin Star	Next UPS Restart:		
2016-05-24 10:31:48 Comm 2016-05-24 10:31:48 Star	unication estab t Agent.	o Eventsj lish [UPS(Model:BN100T /	Communication	
Key "R" To Refresh UPS D Key "Q" To Quit The Moni	ata, Key "A" To tor, Key "C" To	AutoLoad UPS Data / 10 S Change The Current UPS M	econds onitor	Ŧ

6 「1」を入力し「Enter」キーを押す



7 「1」を入力し「Enter」キーを押す



8 「4」を入力し「Enter」キーを押す



9 「1」を入力し「Enter」キーを押す



10 「11」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Maste	er Agent)¥PowerActProConsole.exe	
1. Remote Access:	Enable	*
2. HTTP Port:	80	
3. HTTPS Port:	N/A	
4. SMTP Port:	25	
5. SNMP Port:	161	
6. SysLog Port:	514	
7. SNMP Access:	Disable	
8. Broadcast Access:	Enable	
9. Page Refresh Rate(Sec):	30	
10. LogOff Time(Min):	30	
11. Communication Port Setting		
0. Return		
20000000000000000000000000000000000000		OKOKOKOKOK
Select Number -> 11		-

11 「2」を入力し「Enter」キーを押す



12「2」を入力し「Enter」キーを押す



13 UPS を接続している COM ポートを選択し「Enter」キーを押す



参考

「2.Add」を選択すると、コンピュータのシリアルポートがリスト表示されます。

本例ではシリアルポートが COM1 のみの為、「1」の COM1 を選択しています。

14 「1」を入力し「Enter」キーを押す



参考

「1.COM List」では UPS との通信状況が確認できます。

UPS を接続してある USB ポート(又は COM ポート)と UPS の型式が表示されます。

C:¥Program Files (x86)¥Pow	erAct Pro(Master Agent)¥PowerAc	tProConsole.exe		
t Communication Basa COM List 2. Add 3. Modify 4. Remove 0. Return Select Number -> 1 t	Setting of OMRON-PC(Mas	ter Agent)]	+ E	
[Communication Port	List of OMRON-PC(Master	Axent)]	+	
+			+	
No. Communicati 1 COM1	on Port UPS Model BN100T			
Press Enter Key To Co	nt inue			
1			<u> </u>	
※「UPS Model」に接	続している UPS の型:	式が表示されれば、	UPS との通	信が確立した状態です
		++		
本例ではCOM1 にも	3N1001 を検出している	まり。		

15 「Enter」キーを押し手順 11 の画面に戻る

16「0」を入力し「Enter」キーを押して、一つ前の画面に戻る。 以後同様の操作で「PowerActProConsole」を閉じる

8-2-4 「通信ポートの設定」で「手動」を選択する場合

本製品のインストール時に通信ポートを「手動」設定する手順です。 (☞P.23 手順 18、P.45 手順 12、P.62 手順 11 参照)

1 「手動」を選択し [OK] ボタンをクリックする

通信ボートの設定	ž
通信ボートの設定	を方法を選択してください。
通信ボート	手動
(<u>o</u> k

2 UPS を接続している COM ポートを選択し [追加(A)] ボタンをクリックする



3 [OK] ボタンをクリックする

通信ボートの設定	×
選択したCOM 1ポートを追加しました。	
ОК	>

4 [OK] ボタンをクリックする

通信ボートの設定
UPSと通信するボートを固定したい場合は、通信ボートを選択して「追 加」ボタンをうりのして設定してください。通信ボートの設定が完了した も、「OK」ボタンをクリックしてください。
【注意】 通信ボートを選択できるのは、COMボートのみです。
通信术~ト COMI -

5 選択した COM ポートの通信結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

io.	通信ボート	UPS形式
	ODMI	BNI 00T

6 本製品のインストール手順に戻る

Apache を使用する場合	P.24 手順 20 参照
IIS を使用する場合	P.45 手順 14 参照
Web サーバを使用しない場合	P.63 手順 13 参照

8-3 復電時にサーバを自動起動させる

8-3-1 UPS とコンピュータの自動起動設定

入力電源異常で UPS が自動シャットダウンした後、復電時にコンピュータを自動起動させる場合は、UPS の 設定とコンピュータの BIOS の設定をしてください。

1 復電時に UPS を自動起動する設定(工場出荷時設定)にする



- 2 コンピュータの BIOS 設定を「復電時に自動起動する」設定にする
 - \cdot NEC (Express5800)

 $[Boot] \rightarrow [After Power Failure] \rightarrow [Power On]$

Main Adv	anced	Security	BIOS	System	Hanagement	Exit
Quick Boo			[En ab l	ed]		Allows BIOS to skip pertain tests while
After Pow Un Modem On LAN On PME	er Fail Ring	lure	[Last [Stay [Power [Stay]	state] Off] Off]		decrease the time needed to boot the system.
Deliner		000	F	003		

• HP (ProLiant DL145)

 $[Power] \rightarrow [After Power Failure] \rightarrow [Power On]$

	Main Advanced	Phoen ixBIC Security	S Setup U Power	Boot	Exit
ſ	Last Parts		-		Item :
I	PCT PME Power Fallure:	Enabled			Sate the

• HP (ProLiant DL DL360G6)

[サーバアベイラビリティ] → [自動パワーオン] → [有効]



・富士通(PRIMERGY RX100 S5)

 $[Power] \rightarrow [Power Failure Recovery] \rightarrow [Always On]$

P	hoenix TrustedCore(tr	n) Setup Utility	t	
Main Advanced	Security Power	Server	Boot	Exit
Power-on Source Remote : LAN : Wake up Timer : Wake up Time : Wake up Mode : Power Failure Recovery :	[BIOS Controlled] [Disabled] [Enabled] [Disabled] [00:00:00] [Dally] [Previous State]		ltern S	pecific Help

・日立(HA8000)

BIOS セットアップメニューで「AC 入力でシステム装置を起動させる」に設定にします。



8-3-2 UPS 停止前に復電した場合にコンピュータが自動起動しない

OS がシャットダウンを開始した後、UPS が出力停止する前に復電した場合、UPS は出力停止した直後に自動 起動するため、コンピュータへの<u>給電を停止している時間</u>が短くなります。

この<u>給電停止時間が短い</u>ことが原因でコンピュータが起動しない可能性がありますので、「UPS 起動遅延時間」 で給電停止時間を延ばして、コンピュータが自動起動するか確認してください。

参考

コンピュータは入力電源の停止時間が短いと内部に蓄積された電力が抜けきらず、入力電源が OFF になったことを 検出できないことがあります。

コンピュータ内部に蓄積された電力が完全に抜けきる時間はコンピュータ毎に異なりますので、使用している機種に 合わせて「UPS 起動遅延時間」を調節してください。

■ Web サーバ使用環境

- 1 デスクトップの [PowerAct Pro モニタ] にログインし、[環境設定] → [UPS 起動/再起動]を開く
- 2 「UPS 起動遅延時間」を延ばし、[設定] ボタンをクリックする

			デフォル
>> UPS起動/再起動	UPS再起動設定		
D UPSANDARE	UPS目動測定動	78 V	
D Pine監視設定	UPS起動運动時間	5 ~	8
	パッテリ合動	0% ~	
	UPS起動時の出力開始遅延時間		
	出力開始遅延コマンド送信	78 V	
	出力コンセントA (制御なし)	Ý	10
	出力コンセントB (制御あり)	~	
	出力コンセントC (制御あり)	Ý	8
	UPSコールドスタート		
	UPSコールドスタート機能	しない 🗸	

3 「UPS 起動/再起動」画面を [キャンセル] ボタンで閉じる

4 [システム] → [ログオフ] で [PowerAct Pro モニタ] を閉じる

● 手動エージェント検索: ●							検索	
(システム)	ログ	UP	S 設定		手動操作	ヘルプ
	エージェント自動検索 環境設定 イベント情報	41:57 次回のバッテリ交換: 2017-02-08 奥日): 2016年02月08日						
(0721-ル ログオフ ② スケジュール	-	UPS型式: UPS状態: 出力コンセントA (第	制御なし):	BN150R 商用運転中 出力中		ブザー: ファンクションテストステ バッテリ自動テスト: UPSコールドスタート機能	ならす ータス:する する : しない
	💦 イベント情報		出力コンセントC (創 バッテリ状態:	前御あり):	出力中 正常		エノー电圧/ 入力感受: UPS自動再起動: 通信ポート: USB 1 N	100V/泉平砂度 する
	📝 イベントログ		増設バッテリ:				テスト結果:	
	📝 データログ		入力電圧:	40	60	80	100 120	140 101.3 V

■Web サーバ不使用環境

1 タスクトレイの常駐アイコンを右クリックして、[エージェント停止]を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 デスクトップの [シャットダウンパラメータ設定」をダブルクリックする



4 [UPS 起動/再起動] タブの「UPS 起動遅延時間」を延ばし [OK] ボタンをクリックする

シャットダウンパラメータ	×
シャットダウンパラメーゼ UPS起動/再起動 j通言設定	
100年23年8月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日	
出力コンセントC(制御初) 0 ・ 10	
UPS再起動設定	
UPS自動再起動 有効 🔻	
UPS起動遅延時間	
バッテリ容量オーバ 08	
- UPS1-JL-K7.2	
UPSコールドスタート機能 無効 •	
, man	
ок +и/20/	

5 常駐アイコンを右クリックし [エージェント起動] を選択する



6 常駐アイコンの×が消えることを確認する


付録

付-1 シャットダウン動作シーケンス

付-1-1 初期設定値の動作シーケンス



本製品が入力電源異常を検出してから約 60 秒後に OS のシャットダウンが開始されます。

OS のシャットダウン開始から約 180 秒後に UPS が出力停止します。





付-1-2 応用設定した場合の動作シーケンス



「シャットダウン開始遅延」と「外部コマンド実行時間」の設定がそれぞれ「60秒」の場合、入力電源異常の 検出から約180秒後にOSのシャットダウンが開始されます。

OS のシャットダウン開始から約 180 秒後に UPS が出力停止します。



参考

本設定では本製品が入力電源異常を検出してから UPS が出力停止するまで約 360 秒かかります。

「シャットダウン開始遅延時間」、「外部コマンド実行時間」、「シャットダウンに必要な時間」の合計は、出力コンセント制御機能のある UPS で最大 1800 秒、出力コンセント制御機能のない UPS で最大 600 秒です。

出力コンセント制御機能のある UPS は以下の通りです。

- BN220S/BN300S
- BN100XR/BN150XR/BN240XR
- BN75R/BN150R/BN300R
- BN100T/BN150T/BN220T/BN300T
- · BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW
- · BU1002SW/BU3002SW
- BU150R

付-1-3 UPS の出力停止前に復電した場合の注意点

UPS が「自動停止する」設定では、OS のシャットダウンが開始されると、UPS は必ず出力停止します。

UPS の出力停止前にコンピュータの電源を入れると、OS の起動途中または起動後に UPS が出力停止する為、 故障の原因となる恐れがあります。

コンピュータを手動で起動する前に、必ず、UPSが出力停止した後であることを確認してください。



参考

UPS が自動停止する前にコンピュータを起動したい場合は、一旦 UPS を再起動(電源スイッチ操作で OFF / ON する)し、出力停止タイマーをリセットしてください。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。



K1L-D-16014B